

モクレポ



○SANU 2nd Home/株式会社Sanu（東京都）
※ウッドデザイン賞2022最優秀賞（環境大臣賞）

令和5年3月

No.18

特集

- 2021年林業産出額
- 「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」の開催
- 所有者不明森林等の特例措置活用のためのガイドライン
- スマート林業の展開(実践対策5か年の取組成果)
- 「森林×脱炭素チャレンジ2023」募集開始

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

林野庁

CONTENTS 令和5年3月号

特集

- 1 2021年林業産出額
- 2 「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」の開催
- 3 所有者不明森林等の特例措置活用のためのガイドライン
- 4 スマート林業の展開(実践対策5か年の取組成果)
- 5 「森林×脱炭素チャレンジ2023」募集開始

特集1

特集2

特集3

特集4

特集5

01 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数
- 2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積
- 3 木材産業の業況
- 4 USドル及びユーロ為替相場
- 5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃
- 6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

基礎1

基礎4

基礎8

基礎9

基礎10

基礎11

02 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格
- 2 木材価格（農林水産統計）

価格1

価格3

03 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向
- 2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 4 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 5 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高
- 6 素材生産量
- 7 木材生産の産出額

需給1

需給4

需給5

需給6

需給7

需給8

需給9

04 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額
- 2 木材輸出額
- 3 木材輸入額
- 4 木材輸入量
- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

輸出入1

輸出入2

輸出入3

輸出入4

輸出入10

05 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量
- 2 特用林産物の産出額
- 3 特用林産物の輸出入量
- 4 特用林産物の輸出額
- 5 中国からのしいたけ菌糸輸入量
- 6 きのこと類の卸売量・価格

特産1

特産2

特産3

特産4

特産7

特産8

06 セミナー・イベント情報

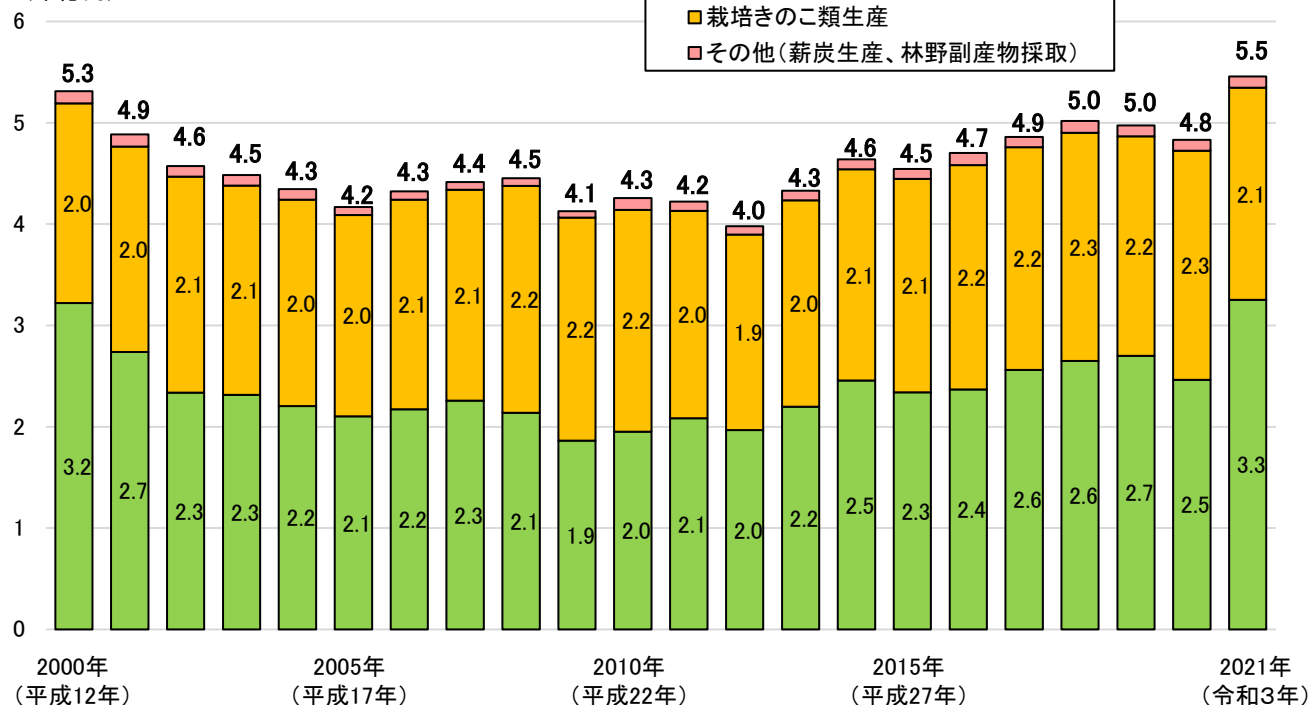
- 3月中旬以降の開催情報

イベント1

- 農林水産省では、各林産物の生産量に価格を乗じて「林業産出額」を推計しており、2023年2月17日に2021年分の林業産出額を公表。
- 林業産出額は近年増加傾向で推移しており、2021年は輸入木材の代替としての国産材の需要の高まりを背景に製材用素材等の価格が上昇したこと等により5,457億円（対前年比113%）となり、ここ20年で最高の水準。
- 林業産出額及び部門別産出額の上位10県は以下のとおり。

■ 林業産出額の推移（全国）

（千億円）



■ 林業産出額及び部門別産出額の上位10県

（千万円）

林業産出額			部門別産出額											
			木材生産			栽培きのご類生産			薪炭生産			林野副産物採取		
都道府県	金額	全国シェア	都道府県	金額	全国シェア	都道府県	金額	全国シェア	都道府県	金額	全国シェア	都道府県	金額	全国シェア
長野	5,778	12%	宮崎	3,217	12%	長野	5,023	24%	高知	92	26%	長野	104	22%
新潟	4,419	9%	北海道	3,145	12%	新潟	4,270	20%	和歌山	82	23%	北海道	94	20%
北海道	4,160	9%	大分	1,709	6%	福岡	1,109	5%	岩手	39	11%	兵庫	30	6%
宮崎	3,722	8%	熊本	1,684	6%	北海道	906	4%	宮崎	18	5%	岩手	24	5%
大分	2,268	5%	岩手	1,498	6%	静岡	729	3%	北海道	16	5%	山形	15	3%
岩手	1,931	4%	秋田	1,176	4%	徳島	707	3%	熊本	14	4%	高知	14	3%
熊本	1,902	4%	鹿児島	970	4%	大分	541	3%	大分	11	3%	長崎	13	3%
秋田	1,574	3%	青森	863	3%	宮崎	477	2%	島根	11	3%	青森	12	3%
静岡	1,370	3%	福島	853	3%	長崎	471	2%	奈良	9	3%	広島	12	3%
福岡	1,362	3%	栃木	851	3%	香川	397	2%	鹿児島	7	2%	福岡	10	2%

資料：農林水産省「令和3年 林業産出額」

注1：林野副産物採取とは、山林から天然のまつたけや生うるしの林産物を採取することをいう。

注2：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場が直接入荷するパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額、薪炭生産におけるまきの産出額、林野副産物採取における木ろう及び生うるしの産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

注3：秘密保護上統計数値を公表していない都道府県を除いている。

林業産出額の詳細は、次のURLをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/ringyou_sansyutu/index.html



「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」の開催

- ・ 林野庁は、2023年2月8日に、令和4年度第2回中央需給情報連絡協議会を開催。
- ・ 2023年1月中旬から2月上旬に開催した全国7地区の地区別協議会の報告があったほか、中央団体等による輸入材及び国産材製品の需給動向を参加者間で共有。

■令和4年度 第2回中央需給情報連絡協議会の結果

【概要】

- 林野庁より、木材の輸入状況や木材の需給動向に加えて、輸入木材の供給リスクを踏まえた国産材活用拡大の取組として、新規の施設導入により国産材の需要拡大に対応した事例や、地域の関係者が連携して輸入材からの転換を進めている事例等について情報共有。
- 参加した事業者より、各地区別の川上・川中・川下の需給動向や、海外情勢を踏まえた輸入材の動向、国産材の価格変動について、現状と見通しに関する情報を共有。また、国産材の安定供給に向けた意見交換を実施。

【需給動向に関する意見】

<川上事業者（原木生産）>

素材生産は順調だが、安全確保等のため増産に向けた体制強化は難しい。価格は一時期より落ち着いたが、2021年3月以前と比較すると高水準で推移。今後、地域により製材工場等の減産が続く場合は、4月以降に伐採調整もあり得る。

<川中事業者（製材・合板製造・市場）>

需要低迷により荷動きが低調で、生産調整を行う製材工場も出てきている。製品価格が徐々に下落する一方で電気代等のコストが上昇し、生産・経営の負担が増している。一方で、最新の製材機械導入による地域材の増産体制の構築や、複数樹種を組み合わせたLVL製品等の新たな需要拡大などの取組が見られる。

<川下事業者（住宅供給・プレカット）>

木材製品は入手しやすくなったが、木材以外の住宅資材全般の値上がりで住宅単価が上昇し、在来軸組工法では注文住宅の受注が伸び悩んでいる。昨年冬の着工戸数減から輸入材の在庫消化が見込みより遅れている。工務店では、輸入材から国産材への転換が一定程度進んできている。

【国産材の安定供給に関する意見】

- ・ 輸入材は極端な需給変化があることや為替の変動も大きいことから、輸入材を扱うリスクを感じたところ。
- ・ 国内での原木の安定供給のために、大型車両の通れる林道整備の推進や、皆伐の増加に対応するために造林事業への対策強化等が必要。
- ・ 建築業界においては、国産材の利用促進の取組を進めていきたい考え。
- ・ 国産材の利用促進に当たっては、木材需給に係る情報についての効果的な共有方法について検討する必要。
- ・ 海外情勢の影響を受けにくい需給構造構築に向けた国産材の利用拡大及び供給力強化の取組や、必要な情報を得やすい環境整備を引き続き推進することが重要。

(参考)協議会の構成、令和4年度の取組

国産材の安定供給体制の構築に向けて、川上から川下まで幅広く様々な関係者が木材等の需給情報の収集・共有を図る事業として、中央及び全国7地区において需給情報連絡協議会を開催。

令和3年度のいわゆるウッドショックの発生以降、関係者間で正確な情報共有を行う場として、協議会を開催することにより対応。

○中央協議会

構成：学識経験者、中央団体、地区別協議会事務局等

議題：木材輸入の状況について

木材需給の動向（全国）について

開催状況（令和4年度）：第1回 6月21日

第2回 2月8日

○地区別協議会（全国7地区）

構成：学識経験者、地区における主要な事業者、都道府県等

議題：需給情報（地区）等

開催状況（令和4年度）：第1回 6月

第2回 1月中旬～2月上旬

○地区別協議会構成員

- ・ 森林組合 ・ 素材生産業者
- ・ 原木市場 ・ 苗木生産者
- ・ 木材加工業者 ・ 製紙事業者
- ・ 木質バイオマス発電事業者
- ・ 学識経験者 ・ 森林管理局
- ・ 工務店 等



需給情報連絡協議会の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>



特集-3 所有者不明森林等の特例措置活用のためのガイドライン

- 林野庁では、森林経営管理制度に基づく所有者不明森林等における特例措置活用を進めるための「ガイドライン」を作成しており、2023年2月に改訂版を公表。
- 今回の改訂では、探索のフローチャート等を追加するとともに、特例措置を活用する際の探索範囲が登記名義人の戸籍謄本等から判明する相続人（一般的には配偶者と子）に限定されることを解説。
- 境界の明確化や相続人の権利放棄等に関するQ & Aを追加するとともに、実際の活用事例や森林整備で活用可能な民法等の各種法制度の活用方法についても新たに解説。

💡 ガイドラインの構成

1 所有者不明森林を取り巻く状況

制度の創設背景や取組の現状について解説

2 森林の有する多面的機能の発揮と森林整備の必要性

森林の役割や手入れの必要性を解説

3 共有者不明森林等に係る特例の手続

森林所有者の探索方法を解説

4 具体の活用場面における検討

Q&A形式で活用のポイントを解説

5 ケーススタディ

ケーススタディ形式で活用のポイントを解説

6 その他法制度の活用

森林整備で活用可能な各種法制度を解説

7 森林の管理水準に関する資料集(別冊)

森林整備の参考となるガイドブック等を掲載

森林所有者の探索方法を詳細に解説

- 森林に関する「登記簿」等の情報から、不明森林所有者の「戸籍」を探り当てるのが最も重要なポイント。探索の範囲についても解説。

Q&A形式で具体の活用場面における疑問に対応

- 特例措置は地域のニーズに応じて柔軟に活用可能なことを解説。
- 特例措置活用のために特別な判断基準の設定や経営管理を行う必要はないことを記載。

実際の活用事例やケーススタディの掲載

- 鳥取県若桜町^{わかさちょう}、京都府綾部市、青森県三戸町^{さんのへまち}の取組事例を解説。

森林経営管理制度以外の各種法制度を網羅

- 森林経営管理法以外の法制度による所有者不明森林等への対応方法を整理。

💡 森林所有者の探索の範囲

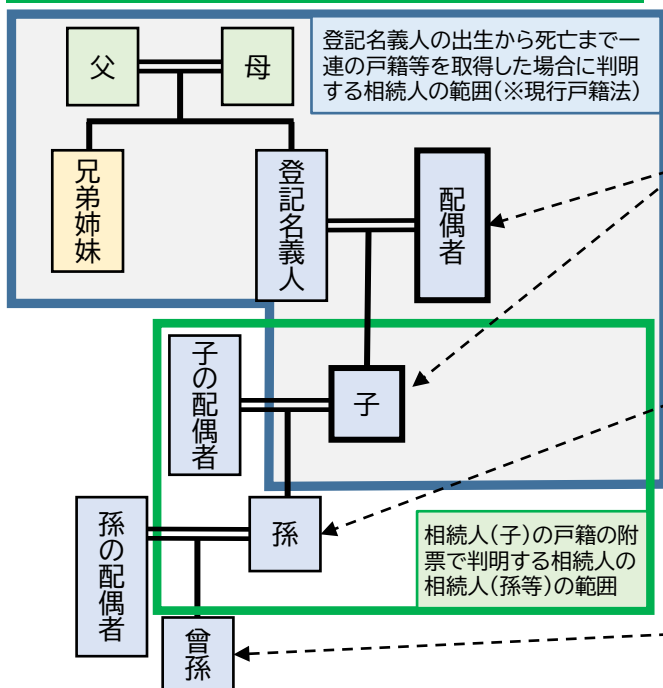


図 所有者が死亡していた場合の探索範囲

①登記名義人の戸籍で判明した相続人（配偶者と子）に対して「戸籍の附票」に記載の住所に意向調査票を送付

②子が亡くなっている場合、「戸籍の附票」で孫の住所が判明したら、孫の住所に意向調査票を送付。到達しなければ、不明森林所有者として扱う

③戸籍の附票から分らない孫の配偶者や曾孫などは、探索する必要はない

- 原則として、登記簿上の所有者及びその戸籍謄本等から判明する相続人（一般的には、配偶者と子）に限定される。
- 相続人（子）が亡くなっている場合であって、相続人（子）の「戸籍の附票の写し」等から、相続人の相続人（登記名義人の孫）の現住所が判明したときは、孫に対して、意向の確認を行う。

「所有者不明森林等の特例措置活用のためのガイドライン」は、次のURLからご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/sinrinkeieikanriseido.html#3.6>



特集-4 スマート林業の展開(実践対策5か年の取組成果)

- 林野庁では、記憶・経験に頼る林業や3K林業から脱却するため、リモートセンシングやICT等を活用した高精度な森林資源把握や、効率的な木材の生産・流通を実現する「スマート林業」に関する取組を推進。
- 平成30年度から5か年にわたって全国12地域で実践してきた取組を総まとめし、2023年2月に成果報告会を開催（アーカイブ動画も配信中）。

スマート林業の展開方向

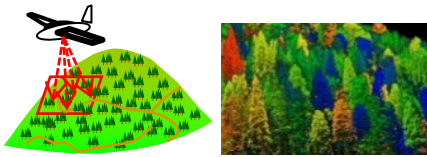
● 記憶からデジタル記録の森林管理へ

森林資源・境界情報のデジタル化

→ 森林管理・利用の省力化

レーザ計測・ICT機器の活用

→ 路網整備・管理の効率化



● 経験からICTによる生産管理へ

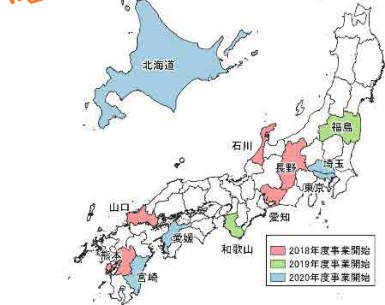
木材の生産・流通のICT化

→ 木材生産の計画、進捗管理、
流通の効率化



成果報告の概要

5地域から最新の取組を報告



北海道



ICTハーベスタの活用

- 採材予測による収益性向上
- カラーマーキングによる
木材検知の省略

埼玉県



WEB入札システムの導入

- 市場業務の効率化
- 遠隔地からの入札参加に期待

長野県



木材検収アプリの活用

- 木材検知の省力化
- 出材量をジャストタイムで把握し、
効果的に需給マッチング

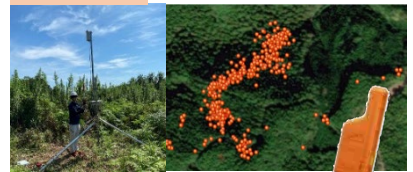
山口県



UAV（無人航空機）、日報管理システム等の導入

- 県職員が林業事業者とマンツーマン
になって技術導入を促進

宮崎県



LPWA（Low Power Wide Area）通信の活用

- 作業員の位置情報から伐採範囲を特定し、
合法証明の資料に活用
- 作業員の労働安全対策にも貢献

今後に向けて

● スマート林業が現場に定着するかどうかは、技術そのものではなく、「人」が重要です。

数あるスマート技術をどのように組合せて活用するか、技術利用についてどのように地域で合意形成するか、人材を育てていくか、これらは全て、**技術を地域に浸透させる人**と、**ともに取り組む地域の仲間**が重要です。

● これからスマート林業に取り組む方々、取組を発展させたい方々、先導した12地域の成果もご活用ください。

成果報告会のアーカイブ動画は、
日本森林技術協会HPをご覧ください。

https://www.jafta.or.jp/contents/jigyo_consulting/11_list_detail.html



5年間のノウハウを
マニュアルでまとめ
ました（林野庁HP）



林野庁 スマート林業

特集-5 「森林×脱炭素チャレンジ2023」 募集開始

- 林野庁は、2023年3月1日より、森林づくり活動や森林由来J-クレジットの活用を通じて、脱炭素社会の実現に貢献する企業等の取組を顕彰する「森林×脱炭素チャレンジ2023」の募集を開始。
- 今回の募集では、前回の募集内容と同じ内容を「森林づくり部門」とし、引き続き募集するとともに、新たに、企業等による森林由来J-クレジットの活用内容等について募集する「J-クレジット部門」を創設。

■「森林×脱炭素チャレンジ」とは

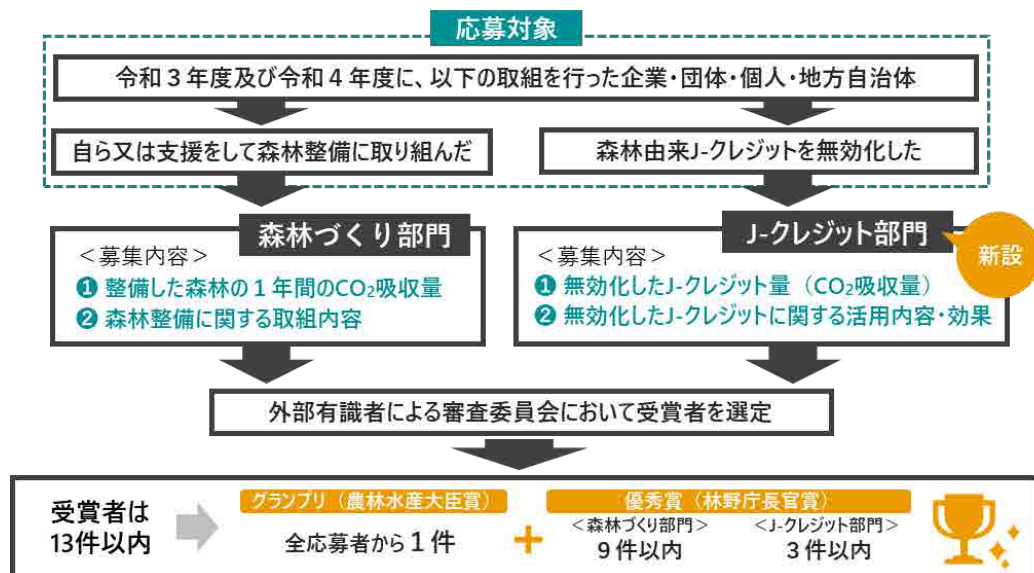
日本の国土の約3分の2は森林が占めており、これらを適切に整備、保全することは、森林によるCO₂吸収量の確保・強化につながり、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献。

SDGsやESG投資への関心が高まる中、企業等が自ら又は支援（以下「支援等」という。）をして行う森林づくり活動が全国で拡大。民間の活力を活かした森林づくりは、森林整備による地球温暖化対策を国民運動として展開する上で、また、豊かな自然を未来に守り伝えるためにも重要。このため、適切な森林の整備、保全につながる企業等の森林づくり活動や森林由来J-クレジットの活用を推進するため、企業等の取組を募集。



2022年グランプリ（農林水産大臣賞）
アサヒグループジャパン（株）
アベマキの林（広島県三次市）

■ 募集内容



【募集期間】
2023年3月1日（水）
～5月31日（水）17時
※応募者登録は
5月26日（金）17時まで！

■ 応募のメリット

<メリット1: マークで自社の取組をPR!>

全ての応募者が、森林づくり活動等を通じて脱炭素に貢献する証として「グリーンパートナーマーク」（右図）を取組のPRに使用可能。

<メリット2: 林野庁が皆様の取組を発信!>

応募者のCO₂吸収量や取組内容について、森林・林業白書や林野庁ウェブサイト、SNS等を通じ広く発信。

<メリット3: 林野庁内に木製銘板を掲示!>

さらに、グランプリ・優秀賞の受賞者について、受賞者名とCO₂吸収量を記載した木製銘板を林野庁庁舎内に設置。



グリーンパートナーマーク

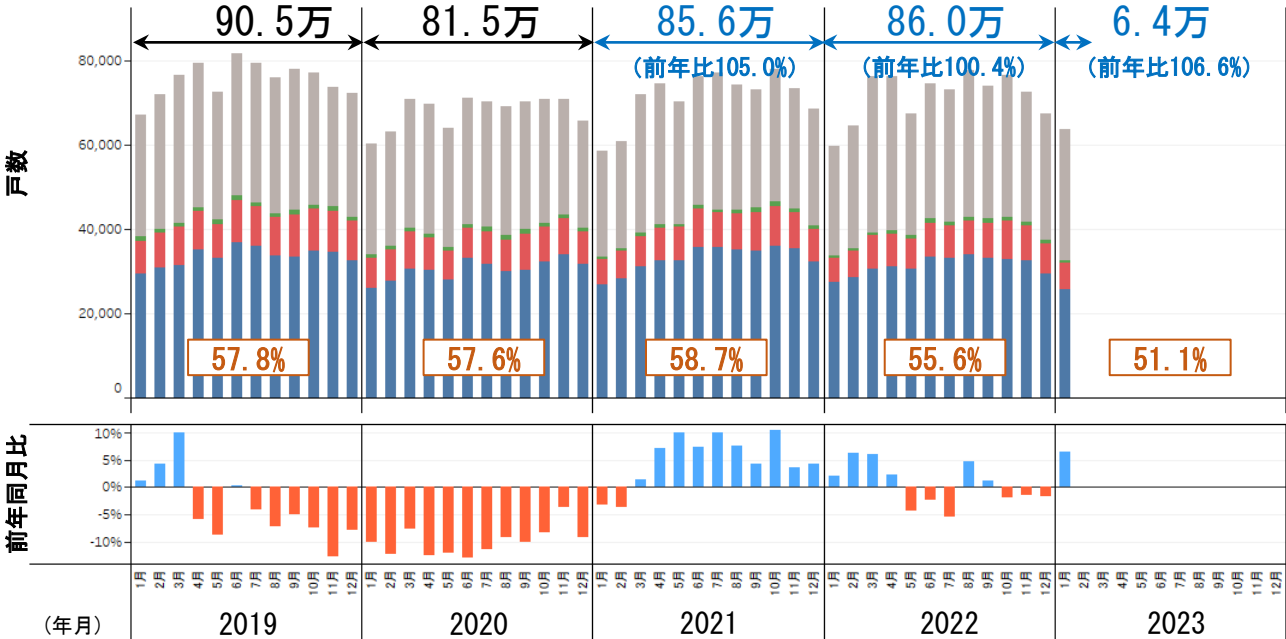
募集内容や応募方法の詳細については、林野庁ウェブサイトをご覧ください

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/forest_co2_challenge/2023.html



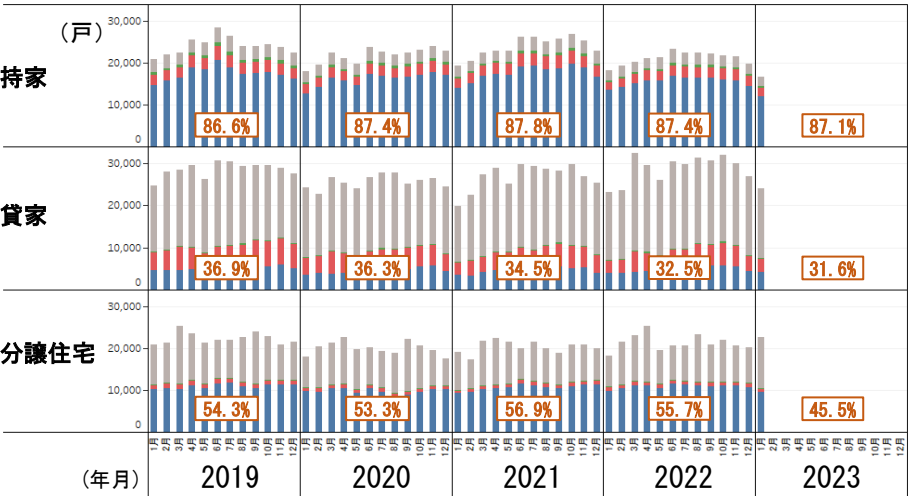
基礎的指標- 1 新設住宅着工戸数

- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）
- 2023年1月の新設住宅着工戸数は、6.4万戸（前年同期比106.6%）、このうち木造住宅は3.3万戸（同96.4%）。



(単位：戸)

構造別の着工戸数	2023年 1月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	63,604	59,690	106.6%	58,448	108.8%
■ 非木造	31,095	25,976	119.7%	25,048	124.1%
木造	32,509	33,714	96.4%	33,400	97.3%
■ 木造プレハブ	682	552	123.6%	638	106.9%
■ 2×4	6,137	5,854	104.8%	5,933	103.4%
■ 在来軸組	25,690	27,308	94.1%	26,829	95.8%
□ 木造率	51.1%	56.5%		57.1%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（構造別）

（単位：千戸、％）

年・月		合計		木造								非木造		木造率	戸数	
				計		在来軸組		2×4		プレハブ					年率季節調整値	前年比
				前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比							
2019年	1	67	101	38	98	29	99	7.9	91	1.0	105	29	106	56.8	872	102
	2	72	104	40	104	31	106	8.3	100	0.9	85	32	104	55.6	967	104
	3	77	110	41	104	31	104	9.1	105	0.9	95	35	118	54.1	989	110
	4	79	94	45	100	35	103	9.0	88	1.1	120	34	88	56.9	931	94
	5	73	91	42	97	33	97	8.2	97	1.0	115	30	84	58.2	900	90
	6	82	100	48	104	37	105	10.0	99	1.2	104	33	96	59.0	922	101
	7	79	96	46	99	36	100	9.4	96	1.1	95	33	92	58.5	910	95
	8	76	93	44	93	34	94	9.0	88	1.0	92	32	93	57.4	891	93
	9	78	95	44	92	34	91	9.9	93	1.0	95	33	100	57.0	897	95
	10	77	93	46	91	35	92	9.9	87	1.1	82	31	95	59.3	879	93
	11	74	87	45	94	34	94	9.8	95	1.1	93	28	78	61.6	834	87
	12	72	92	43	91	33	92	9.2	89	1.0	89	29	93	59.3	852	89
2020年	1	60	90	34	89	26	89	7.0	89	0.8	82	26	91	56.1	813	93
	2	63	88	36	90	28	90	7.3	88	0.8	88	27	85	56.8	871	90
	3	71	92	40	97	31	97	8.7	95	0.9	102	31	87	56.8	905	92
	4	70	88	39	86	30	86	7.7	86	0.8	75	31	90	55.8	801	86
	5	64	88	36	84	28	85	6.8	83	0.9	96	28	93	55.8	809	90
	6	71	87	41	86	33	90	7.3	73	1.0	79	30	89	58.0	790	86
	7	70	89	40	87	32	88	7.8	84	0.9	89	30	91	57.6	828	91
	8	69	91	38	88	30	89	7.5	83	1.0	102	31	95	55.6	819	92
	9	70	90	40	90	30	91	8.6	87	1.0	92	30	90	56.9	815	91
	10	71	92	41	91	32	93	8.2	84	0.9	89	29	93	58.6	802	91
	11	71	96	43	96	34	98	8.6	87	1.0	92	27	97	61.3	820	98
	12	66	91	40	94	32	97	7.6	82	0.9	92	25	87	61.3	784	92
2021年	1	58	97	33	99	27	103	5.9	85	0.6	82	25	95	57.1	801	99
	2	61	96	35	99	28	101	6.6	90	0.7	93	25	93	58.3	808	93
	3	72	101	39	97	31	102	7.0	81	0.8	93	33	107	54.3	880	97
	4	75	107	41	106	32	107	7.8	101	0.8	96	33	109	55.1	883	110
	5	70	110	41	115	33	116	7.9	116	0.8	80	29	103	58.6	875	108
	6	76	107	46	111	36	109	8.9	122	1.1	111	31	102	60.0	866	110
	7	77	110	45	110	36	112	8.3	106	0.8	86	33	109	57.9	926	112
	8	74	108	45	116	35	117	8.7	116	1.0	98	30	97	60.0	855	104
	9	73	104	45	113	35	115	9.2	108	1.1	117	28	93	61.7	845	104
	10	78	110	46	112	36	112	9.4	114	1.1	114	32	108	59.5	892	111
	11	73	104	45	103	35	104	8.5	100	1.0	101	29	104	61.1	848	103
	12	68	104	41	102	32	102	7.8	103	0.8	91	28	108	59.7	838	107
2022年	1	60	102	34	101	27	102	5.9	99	0.6	87	26	104	56.5	820	102
	2	65	106	35	100	29	101	6.2	94	0.7	100	29	115	54.8	872	108
	3	76	106	39	101	31	98	7.9	113	0.8	95	37	113	51.5	927	105
	4	76	102	40	97	31	96	7.6	98	0.8	107	37	109	52.0	885	100
	5	67	96	38	93	31	94	7.2	91	0.7	93	29	99	57.2	828	95
	6	75	98	42	93	33	93	8.1	92	0.9	89	32	105	56.8	845	98
	7	73	95	42	93	33	93	7.6	92	1.0	116	31	96	57.2	825	89
	8	78	105	43	96	34	97	8.0	93	1.0	103	35	117	55.2	903	106
	9	74	101	42	94	33	95	8.4	91	0.9	80	32	113	57.3	858	101
	10	77	98	43	92	33	92	8.9	95	1.0	96	34	107	55.9	867	97
	11	72	99	42	93	33	92	8.2	97	1.0	97	31	107	57.7	842	99
	12	67	98	37	91	29	91	7.1	91	0.8	101	30	108	55.6	846	101
2023年	1	64	107	33	96	26	94	6.1	105	0.7	124	31	120	51.1	893	109
2019年計		905	96	523	97	402	98	110	94	12	97	382	95	57.8	904	96
2020年計		815	90	469	90	365	91	93	85	11	89	346	91	57.6	821	91
2021年計		856	105	502	107	396	108	96	103	11	97	354	102	58.7	860	105
2022年計		860	100	478	95	377	95	91	95	10	97	382	108	55.6	860	100
2019年	第1四半期	216	105	120	102	92	103	25	99	2.7	94	96	109	55.4	942	106
	第2四半期	234	95	135	100	105	102	27	95	3.3	112	98	89	58.0	918	95
	第3四半期	233	95	134	94	103	95	28	92	3.1	94	99	95	57.7	899	94
	第4四半期	223	91	134	92	102	93	29	90	3.1	88	89	88	60.1	855	89
2020年	第1四半期	194	90	110	92	84	92	23	91	2.4	90	84	88	56.6	863	92
	第2四半期	205	88	116	85	91	87	22	80	2.7	83	89	91	56.6	800	87
	第3四半期	210	90	119	88	92	89	24	85	2.9	94	91	92	56.7	821	91
	第4四半期	207	93	125	93	98	96	24	84	2.8	91	82	92	60.4	802	94
2021年	第1四半期	191	98	108	98	86	102	20	85	2.2	89	83	99	56.5	830	96
	第2四半期	221	108	128	111	101	110	25	113	2.6	95	93	105	57.9	875	109
	第3四半期	225	107	134	113	105	114	26	110	2.9	100	90	99	59.8	876	107
	第4四半期	220	106	132	106	104	106	26	105	2.9	102	88	107	60.1	859	107
2022年	第1四半期	200	105	108	100	86	100	20	102	2.0	94	92	111	54.1	873	105
	第2四半期	218	99	120	94	95	94	23	94	2.5	96	98	105	55.2	853	97
	第3四半期	225	100	127	95	100	95	24	92	2.8	98	98	108	56.5	862	98
	第4四半期	216	98	122	92	95	92	24	94	2.8	98	94	107	56.4	851	99

資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（利用関係別・資金別）

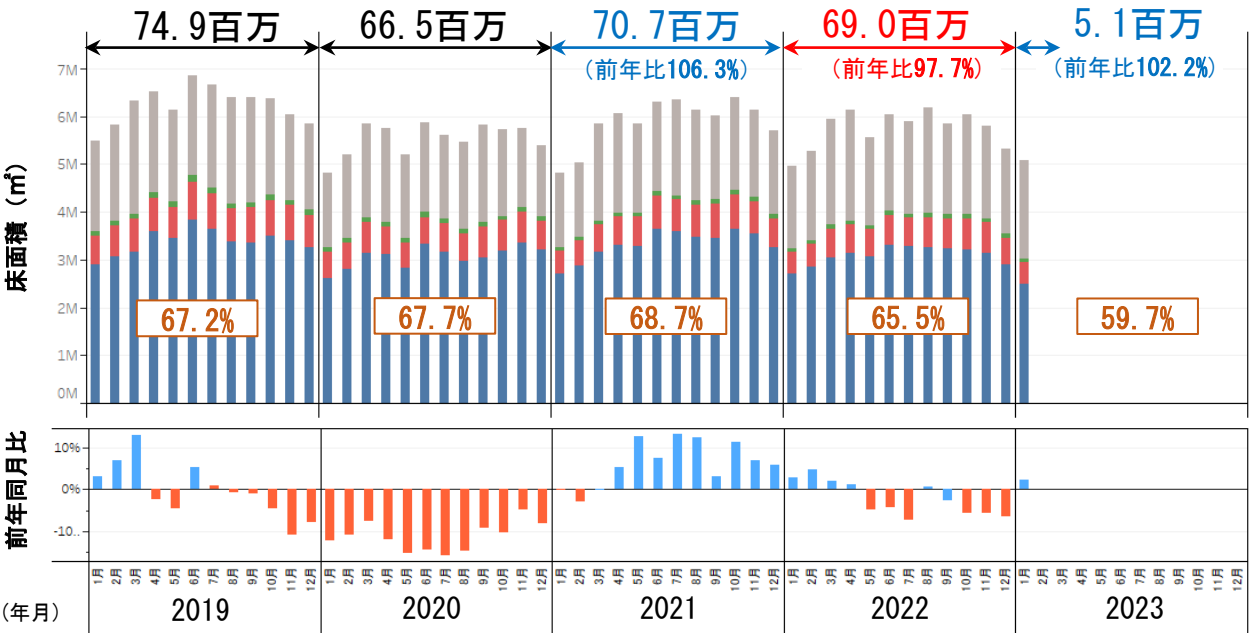
（単位：千戸、％）

年・月		合計		利用関係別										資金別					
				持家		貸家		給与		分譲		一戸建		共同住宅		民間		公的	
												前年 比	前年 比	前年 比	前年 比				
2019年	1	67	101	21	103	25	88	0.5	118	21	120	11	104	10	145	60	102	7	95
	2	72	104	22	110	28	95	0.9	140	21	111	12	112	9	110	64	104	8	105
	3	77	110	22	109	28	96	0.4	162	25	133	12	107	14	169	69	110	8	110
	4	79	94	25	109	30	83	1.0	176	23	94	13	103	11	85	71	95	8	88
	5	73	91	25	106	26	84	0.4	31	21	89	12	100	9	77	64	89	8	112
	6	82	100	28	113	31	88	0.6	66	22	108	13	110	9	105	73	102	8	91
	7	79	96	26	103	30	85	0.6	143	22	105	13	109	9	100	71	97	8	86
	8	76	93	24	98	29	83	0.2	36	23	106	12	102	10	110	68	93	8	91
	9	78	95	24	97	29	83	0.5	75	24	114	12	100	12	133	70	95	8	97
	10	77	93	24	94	29	84	0.3	41	23	107	13	101	10	116	69	93	8	90
	11	74	87	24	93	29	82	0.3	48	21	90	13	101	8	76	65	87	8	93
	12	72	92	22	91	28	90	0.7	167	22	95	12	96	9	94	65	92	8	90
2020年	1	60	90	18	86	24	97	0.3	63	18	85	11	97	7	72	54	89	7	98
	2	63	88	20	89	23	81	0.5	63	20	96	11	92	9	102	56	88	7	86
	3	71	92	22	100	27	93	0.6	145	21	84	12	99	10	71	63	91	8	105
	4	70	88	21	83	25	86	0.6	60	23	96	12	92	11	102	62	88	7	86
	5	64	88	20	79	24	92	0.3	92	20	93	10	87	9	101	58	90	6	70
	6	71	87	24	83	27	87	0.6	94	20	92	12	89	8	97	64	88	7	82
	7	70	89	23	86	28	91	0.5	77	19	88	11	83	8	96	63	89	7	88
	8	69	91	22	91	28	95	0.6	248	19	84	9	77	9	92	63	92	6	81
	9	70	90	22	93	25	85	0.6	137	22	92	10	84	12	100	64	92	6	73
	10	71	92	23	94	26	89	0.9	293	21	90	11	84	10	98	64	93	6	78
	11	71	96	24	102	26	92	0.8	292	20	94	11	90	8	101	64	98	7	83
	12	66	91	23	102	24	88	0.8	115	18	82	11	91	6	69	59	91	7	87
2021年	1	58	97	19	106	20	82	0.4	121	19	107	10	94	9	128	53	99	5	80
	2	61	96	20	104	23	100	0.4	77	17	85	10	96	7	73	55	97	6	88
	3	72	101	22	100	27	103	0.4	59	22	103	11	97	10	110	65	104	7	81
	4	75	107	23	109	29	114	0.3	55	22	100	12	99	11	100	68	109	7	93
	5	70	110	23	116	25	104	0.8	230	21	108	12	114	10	103	63	109	7	119
	6	76	107	26	111	30	112	0.5	81	20	98	13	109	7	84	70	109	7	96
	7	77	110	26	115	29	106	0.4	83	21	111	12	113	9	108	70	111	7	96
	8	74	108	25	115	29	104	0.5	92	20	105	12	125	8	86	67	107	7	113
	9	73	104	26	115	28	113	0.4	64	19	85	12	115	7	61	67	104	6	104
	10	78	110	27	117	30	115	0.5	55	21	101	12	115	9	85	71	110	7	112
	11	73	104	25	105	27	101	0.5	57	21	106	13	110	8	102	67	105	6	91
	12	68	104	23	100	25	103	0.5	66	20	113	13	112	7	114	63	106	6	88
2022年	1	60	102	18	94	23	117	0.3	88	18	95	11	108	7	80	55	103	5	92
	2	65	106	19	94	24	105	0.3	76	21	123	12	111	10	142	59	108	5	87
	3	76	106	20	91	32	119	0.4	112	23	106	12	110	11	102	70	107	7	100
	4	76	102	21	92	30	102	0.5	155	25	112	12	107	13	117	70	104	6	88
	5	67	96	21	93	26	104	0.3	44	20	91	12	101	8	80	62	98	6	79
	6	75	98	23	89	30	102	0.4	90	21	104	13	100	8	111	68	98	6	98
	7	73	95	22	86	30	102	0.3	74	21	96	12	102	8	88	66	94	7	102
	8	78	105	22	89	31	109	1.0	179	23	116	12	105	11	133	71	105	7	101
	9	74	101	22	87	31	108	0.4	86	21	110	12	107	8	115	68	102	6	92
	10	77	98	22	81	32	107	0.9	182	22	105	12	101	9	110	68	96	8	117
	11	72	99	22	85	30	111	0.3	76	21	99	12	99	8	99	65	97	7	113
	12	67	98	20	87	27	106	0.4	85	20	101	12	94	8	114	61	98	6	106
2023年	1	64	107	17	92	24	104	0.2	74	23	125	11	96	12	170	56	103	7	149
2019年計		905	96	289	102	342	86	6.4	86	268	105	148	104	119	106	810	96	95	95
2020年計		815	90	261	90	307	90	7.2	113	240	90	131	89	109	91	735	91	80	84
2021年計		856	105	286	109	321	105	5.6	77	244	102	141	108	102	94	779	106	77	96
2022年計		860	100	253	89	345	107	5.7	102	255	105	146	103	109	106	784	101	76	98
2019年	第1四半期	216	105	65	107	81	93	1.8	138	67	121	35	108	32	140	193	105	23	104
	第2四半期	234	95	79	110	86	85	2.0	74	66	96	38	104	29	87	209	95	25	96
	第3四半期	233	95	74	99	89	83	1.3	77	68	108	37	104	31	114	209	95	24	91
	第4四半期	223	91	70	93	86	85	1.3	73	65	97	38	99	27	94	199	91	24	91
2020年	第1四半期	194	90	60	92	73	90	1.5	84	59	88	33	96	26	80	172	89	22	96
	第2四半期	205	88	64	82	76	88	1.6	76	63	94	34	89	29	100	185	89	20	79
	第3四半期	210	90	67	90	80	90	1.7	128	60	88	30	81	30	96	190	91	19	80
	第4四半期	207	93	70	99	77	90	2.5	198	58	89	33	88	24	89	187	94	20	83
2021年	第1四半期	191	98	62	103	70	95	1.2	78	58	98	32	96	26	101	173	100	18	83
	第2四半期	221	108	72	112	84	110	1.6	104	64	102	36	107	28	96	201	109	20	102
	第3四半期	225	107	77	115	86	107	1.3	79	60	100	36	117	25	82	205	108	20	104
	第4四半期	220	106	75	107	82	106	1.5	59	62	106	38	113	24	98	201	107	19	97
2022年	第1四半期	200	105	58	93	79	113	1.1	92	63	108	35	109	28	105	184	106	17	93
	第2四半期	218	99	66	91	86	102	1.3	81	65	103	37	103	28	102	200	100	18	88
	第3四半期	225	100	67	87	92	106	1.6	119	65	107	37	104	27	111	205	100	20	99
	第4四半期	216	98	63	84	89	108	1.7	116	63	102	37	98	26	108	195	97	21	113

資料：国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

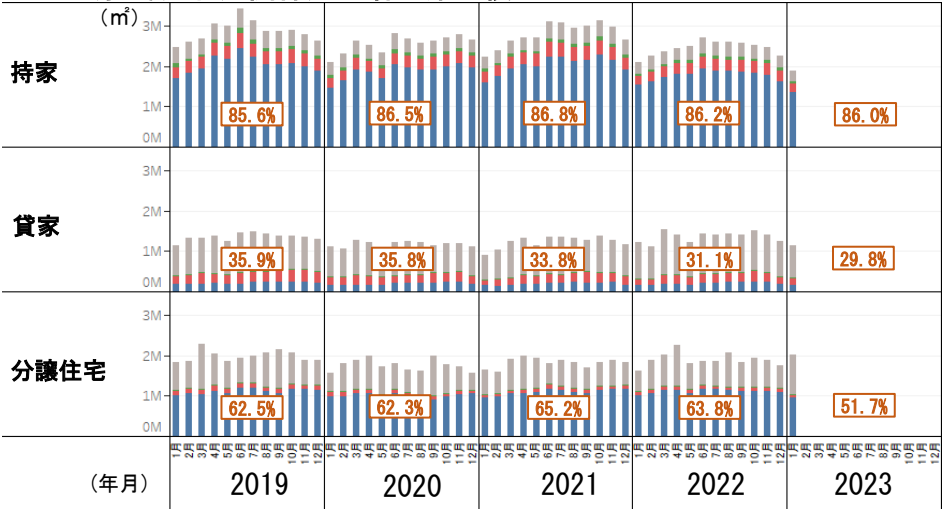
- 2022年の新設住宅着工床面積は、69.0百万㎡（前年比97.7%）、このうち木造住宅は45.2百万㎡（同93.0%）。
- 2023年1月の新設住宅着工床面積は、5.1百万㎡（前年同期比102.2%）、このうち木造住宅は3.0百万㎡（同93.7%）。



(単位：千㎡)

構造別の 着工床面積	2023年 1月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	5,075	4,968	102.2%	4,825	105.2%
■非木造	2,048	1,736	118.0%	1,559	131.3%
木造	3,028	3,232	93.7%	3,266	92.7%
■木造プレハブ	68	58	117.3%	69	99.0%
■2×4	478	464	103.0%	492	97.1%
■在来軸組	2,482	2,710	91.6%	2,705	91.7%
□木造率	59.7%	65.1%		67.7%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（構造別）

（単位：千㎡、％）

年・月		合計		木造								非木造		木造率	木造1戸 当りの 床面積 (㎡/戸)
				計		在来軸組		2×4		プレハブ					
前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比						
2019年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.4
	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
2020年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4	96.0
	2	5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
	3	5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
	4	5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
	5	5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
	6	5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
	7	5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
	8	5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
	9	5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.8
	10	5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
	11	5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
	12	5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.0
2021年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
	8	6,147	112	4,251	117	3,476	117	675	119	100	106	1,897	104	69.1	95.3
	9	6,012	103	4,267	113	3,463	114	700	108	104	107	1,746	86	71.0	94.6
	10	6,390	111	4,464	114	3,641	114	716	114	108	116	1,925	106	69.9	96.2
	11	6,143	107	4,310	105	3,556	106	656	102	98	97	1,833	111	70.2	96.0
	12	5,702	106	3,953	101	3,258	101	611	104	84	91	1,749	118	69.3	96.7
2022年	1	4,968	103	3,232	99	2,710	100	464	94	58	84	1,736	111	65.1	95.9
	2	5,282	105	3,416	98	2,851	99	493	94	72	103	1,867	119	64.7	96.5
	3	5,953	102	3,728	98	3,053	96	595	107	80	94	2,225	110	62.6	95.0
	4	6,134	101	3,811	96	3,133	95	595	98	83	100	2,323	112	62.1	96.0
	5	5,566	95	3,713	93	3,075	94	563	90	75	96	1,854	99	66.7	96.6
	6	6,029	96	4,034	91	3,311	91	627	89	96	90	1,995	108	66.9	95.2
	7	5,886	93	3,963	91	3,276	91	598	91	88	104	1,923	96	67.3	94.9
	8	6,180	101	3,970	93	3,269	94	606	90	94	94	2,210	116	64.2	92.5
	9	5,848	97	3,948	93	3,225	93	635	91	88	84	1,901	109	67.5	93.1
	10	6,030	94	3,958	89	3,201	88	664	93	93	86	2,072	108	65.6	92.4
	11	5,806	95	3,870	90	3,152	89	625	95	93	96	1,936	106	66.7	92.7
	12	5,328	93	3,543	90	2,896	89	562	92	84	100	1,786	102	66.5	94.8
2023年	1	5,075	102	3,028	94	2,482	92	478	103	68	117	2,048	118	59.7	93.1
2019年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
2020年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
2021年計		70,666	106	48,564	108	39,972	109	7,523	106	1,070	96	22,102	103	68.7	96.7
2022年計		69,010	98	45,184	93	37,153	93	7,027	93	1,004	94	23,826	108	65.5	94.5
2019年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
2020年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
2021年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1
	第3四半期	18,512	109	12,862	114	10,541	115	2,031	112	289	100	5,651	100	69.5	95.7
	第4四半期	18,235	108	12,727	107	10,454	107	1,983	107	289	101	5,508	111	69.8	96.3
2022年	第1四半期	16,203	103	10,375	98	8,614	98	1,552	99	209	94	5,828	113	64.0	95.8
	第2四半期	17,729	97	11,558	93	9,519	93	1,785	92	254	95	6,171	107	65.2	95.9
	第3四半期	17,914	97	11,880	92	9,770	93	1,840	91	270	93	6,034	107	66.3	93.5
	第4四半期	17,164	94	11,370	89	9,250	88	1,850	93	270	93	5,794	105	66.2	93.2

資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（利用關係別・資金別）

（単位：千㎡、％）

年・月		合計	利用關係別								資金別						
			持家		貸家		給与		分譲		民間		公的				
			前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比			
2019年	1	5,484	103	2,477	103	1,144	88	32	92	1,831	116	1,154	104	4,871	104	613	96
	2	5,828	107	2,603	109	1,317	98	53	100	1,855	112	1,229	112	5,139	108	689	100
	3	6,320	113	2,675	108	1,326	96	29	135	2,290	133	1,218	108	5,629	113	692	110
	4	6,532	98	3,052	108	1,392	85	48	140	2,040	93	1,316	103	5,799	98	733	93
	5	6,126	95	2,991	106	1,255	87	32	40	1,848	89	1,238	101	5,392	94	734	106
	6	6,849	105	3,415	112	1,458	91	43	95	1,934	106	1,359	111	6,084	106	765	97
	7	6,656	101	3,147	103	1,482	90	39	162	1,988	107	1,356	110	5,884	102	772	96
	8	6,397	99	2,868	98	1,447	89	20	53	2,062	111	1,271	103	5,691	99	706	98
	9	6,412	99	2,857	96	1,377	86	32	95	2,146	115	1,237	101	5,690	99	722	100
	10	6,386	95	2,894	93	1,385	85	23	46	2,084	109	1,331	103	5,657	96	729	92
	11	6,036	89	2,791	92	1,349	83	23	61	1,873	91	1,323	102	5,331	89	705	92
	12	5,850	92	2,619	91	1,295	91	46	183	1,889	94	1,296	96	5,179	92	671	90
2020年	1	4,821	88	2,110	85	1,127	99	17	52	1,567	86	1,135	98	4,254	87	566	92
	2	5,194	89	2,299	88	1,057	80	31	58	1,807	97	1,133	92	4,601	90	593	86
	3	5,848	93	2,640	99	1,276	96	54	187	1,878	82	1,207	99	5,135	91	714	103
	4	5,758	88	2,512	82	1,214	87	34	70	1,998	98	1,210	92	5,108	88	650	89
	5	5,195	85	2,343	78	1,092	87	29	91	1,732	94	1,082	87	4,644	86	551	75
	6	5,861	86	2,816	82	1,212	83	36	84	1,797	93	1,208	89	5,239	86	622	81
	7	5,616	84	2,694	86	1,253	85	28	71	1,642	83	1,121	83	5,005	85	611	79
	8	5,466	85	2,589	90	1,220	84	33	166	1,624	79	984	77	4,911	86	555	79
	9	5,825	91	2,631	92	1,152	84	50	154	1,992	93	1,042	84	5,288	93	537	74
	10	5,735	90	2,707	94	1,189	86	48	207	1,791	86	1,104	83	5,160	91	575	79
	11	5,750	95	2,801	100	1,198	89	36	160	1,715	92	1,180	89	5,159	97	591	84
	12	5,385	92	2,661	102	1,111	86	39	85	1,574	83	1,180	91	4,811	93	574	86
2021年	1	4,825	100	2,234	106	911	81	23	136	1,656	106	1,064	94	4,332	102	493	87
	2	5,045	97	2,388	104	1,031	97	29	94	1,598	88	1,089	96	4,467	97	579	98
	3	5,838	100	2,634	100	1,261	99	26	49	1,917	102	1,177	97	5,241	102	597	84
	4	6,064	105	2,709	108	1,339	110	24	70	1,992	100	1,202	99	5,477	107	587	90
	5	5,852	113	2,714	116	1,151	105	37	128	1,950	113	1,224	113	5,249	113	603	110
	6	6,295	107	3,104	110	1,351	111	31	88	1,808	101	1,317	109	5,687	109	608	98
	7	6,352	113	3,082	114	1,358	108	25	89	1,888	115	1,275	114	5,748	115	604	99
	8	6,147	112	2,941	114	1,323	108	38	114	1,846	114	1,228	125	5,518	112	629	113
	9	6,012	103	3,000	114	1,285	112	32	65	1,695	85	1,197	115	5,454	103	558	104
	10	6,390	111	3,141	116	1,384	116	35	72	1,829	102	1,278	116	5,763	112	627	109
	11	6,143	107	2,965	106	1,269	106	28	79	1,881	110	1,298	110	5,565	108	578	98
	12	5,702	106	2,647	99	1,175	106	36	92	1,844	117	1,316	112	5,177	108	525	91
2022年	1	4,968	103	2,108	94	1,216	133	23	101	1,620	98	1,135	107	4,513	104	454	92
	2	5,282	105	2,250	94	1,115	108	26	90	1,892	118	1,200	110	4,801	107	481	83
	3	5,953	102	2,371	90	1,531	121	28	108	2,023	106	1,285	109	5,403	103	550	92
	4	6,134	101	2,455	91	1,399	104	32	133	2,248	113	1,286	107	5,617	103	517	88
	5	5,566	95	2,504	92	1,228	107	30	81	1,804	92	1,230	100	5,060	96	506	84
	6	6,029	96	2,715	87	1,423	105	35	112	1,856	103	1,305	99	5,470	96	559	92
	7	5,886	93	2,613	85	1,396	103	27	111	1,850	98	1,284	101	5,287	92	599	99
	8	6,180	101	2,596	88	1,442	109	58	155	2,083	113	1,272	104	5,582	101	598	95
	9	5,848	97	2,575	86	1,404	109	31	96	1,839	108	1,267	106	5,333	98	515	92
	10	6,030	94	2,519	80	1,511	109	51	147	1,949	107	1,278	100	5,327	92	703	112
	11	5,806	95	2,475	83	1,414	111	31	108	1,886	100	1,267	98	5,244	94	561	97
	12	5,328	93	2,269	86	1,259	107	34	95	1,766	96	1,228	93	4,801	93	527	100
2023年	1	5,075	102	1,898	90	1,131	93	22	95	2,025	125	1,083	95	4,421	98	655	144
2019年計		74,876	99	34,388	101	16,228	89	420	88	23,840	105	15,329	104	66,346	100	8,530	97
2020年計		66,454	89	30,803	90	14,101	87	434	103	21,116	89	13,585	89	59,315	89	7,139	84
2021年計		70,666	106	33,558	109	14,839	105	364	84	21,906	104	14,664	108	63,679	107	6,988	98
2022年計		69,010	98	29,450	88	16,338	110	407	112	22,815	104	15,036	103	62,440	98	6,570	94
2019年	第1四半期	17,632	108	7,756	107	3,787	94	114	104	5,976	121	3,602	108	15,638	109	1,994	102
	第2四半期	19,507	99	9,457	109	4,104	88	123	77	5,822	95	3,913	105	17,275	100	2,232	98
	第3四半期	19,465	100	8,872	99	4,306	89	91	96	6,196	111	3,865	104	17,266	100	2,199	98
	第4四半期	18,272	92	8,304	92	4,030	86	92	81	5,846	98	3,950	100	16,166	92	2,106	91
2020年	第1四半期	15,863	90	7,049	91	3,460	91	102	89	5,252	88	3,476	96	13,990	89	1,873	94
	第2四半期	16,815	86	7,671	81	3,518	86	99	80	5,527	95	3,499	89	14,992	87	1,823	82
	第3四半期	16,907	87	7,914	89	3,625	84	110	121	5,258	85	3,147	81	15,204	88	1,703	77
	第4四半期	16,870	92	8,169	98	3,498	87	123	135	5,080	87	3,463	88	15,130	94	1,740	83
2021年	第1四半期	15,708	99	7,256	103	3,204	93	78	77	5,171	98	3,330	96	14,040	100	1,668	89
	第2四半期	18,211	108	8,526	111	3,841	109	93	94	5,751	104	3,743	107	16,413	109	1,798	99
	第3四半期	18,512	109	9,023	114	3,966	109	95	86	5,429	103	3,700	118	16,720	110	1,792	105
	第4四半期	18,235	108	8,753	107	3,828	109	99	80	5,554	109	3,891	112	16,505	109	1,730	99
2022年	第1四半期	16,203	103	6,730	93	3,861	121	77	99	5,535	107	3,620	109	14,717	105	1,486	89
	第2四半期	17,729	97	7,674	90	4,050	105	97	105	5,908	103	3,820	102	16,148	98	1,582	88
	第3四半期	17,914	97	7,783	86	4,242	107	117	123	5,772	106	3,822	103	16,202	97	1,712	96
	第4四半期	17,164	94	7,263	83	4,184	109	116	117	5,601	101	3,773	97	15,373	93	1,791	104

資料：国土交通省「住宅着工統計」

<参考> 非居住用建築物着工床面積

(単位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
			前年比		前年比		前年比
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2022年は、木材産業の倒産件数が13件（前年比68%）、負債金額が7,645百万円（同177%）。
- 2023年1月は、木材産業の倒産件数が3件（前年同期比300%）、負債金額が230百万円（同1,769%）。

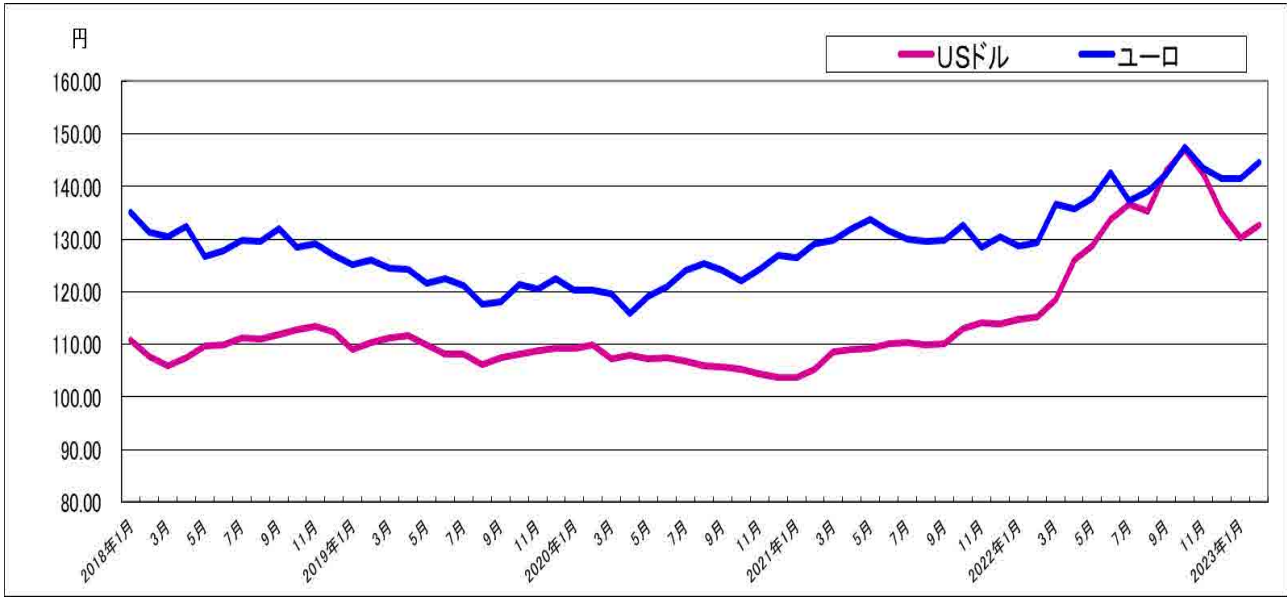
年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2020年	1	773	116	124,734	74	0	—	0	—
	2	651	111	71,283	36	0	—	0	—
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	—	180	—
	2	446	69	67,490	95	0	—	0	—
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	—	0	—
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	—	0	—
	11	510	90	94,101	92	0	—	0	—
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	—	0	—
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	—	0	—
	7	494	104	84,570	118	0	—	0	—
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
	10	596	114	86,995	88	1	—	200	—
	11	581	114	115,589	123	1	—	86	—
	12	606	120	79,172	85	1	100	331	331
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2022年計		6,428	107	2,331,443	203	13	68	7,645	177
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802
	第4四半期	1,783	116	281,756	99	3	300	617	617

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

基礎的指標-4

USドル及びユーロ為替相場

- 2023年2月の為替相場は、1ドル132.68円、1ユーロ144.61円。



(単位:円)

年 月	USDドル	ユーロ
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95

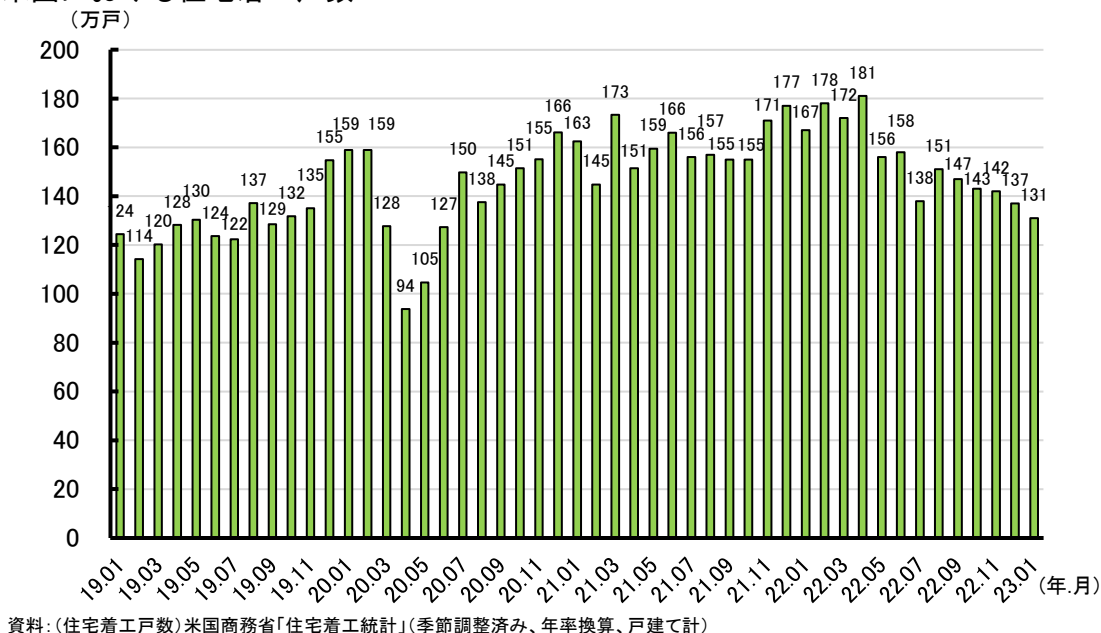
(単位:円)

年 月	USDドル	ユーロ
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59
11月	142.44	143.58
12月	134.93	141.47
2023年1月	130.20	141.56
2月	132.68	144.61

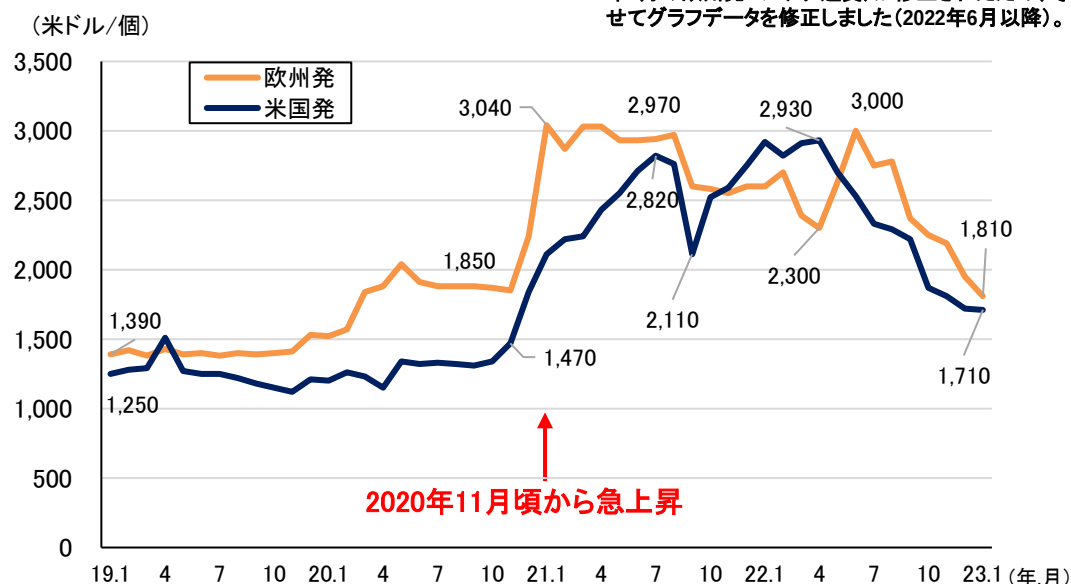
資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には181万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向が続き、2023年1月は131万戸となった。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持していたが、2022年7月以降は下落傾向が続いている。

○米国における住宅着工戸数



○日本向けコンテナ運賃の推移



注: 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

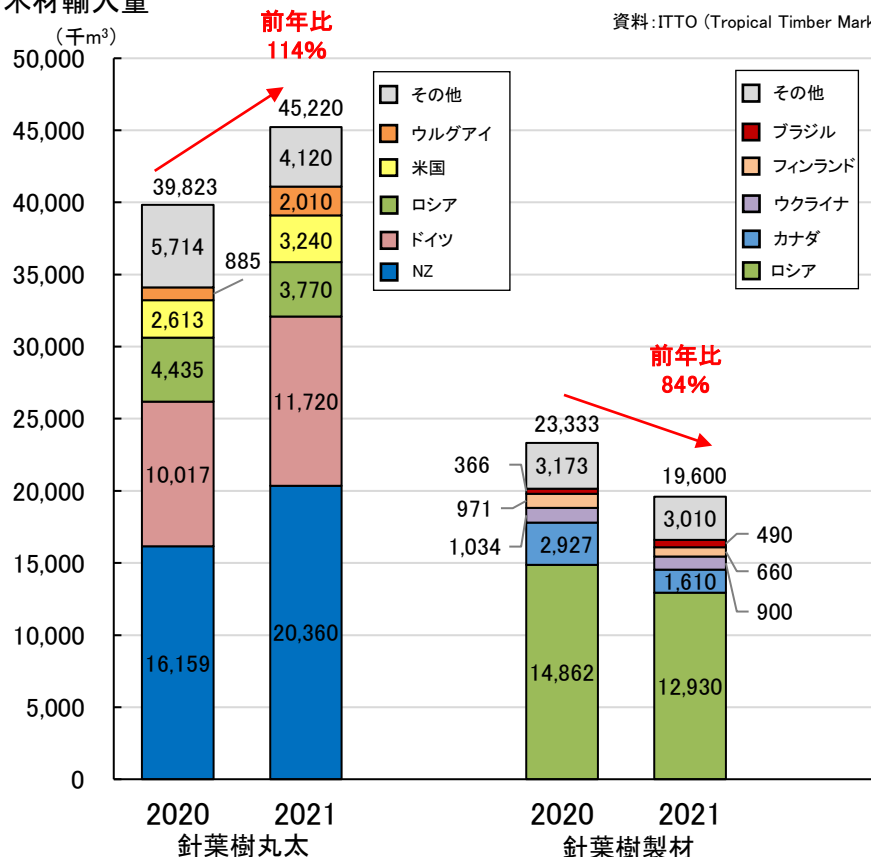
出典: Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

基礎的指標-6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

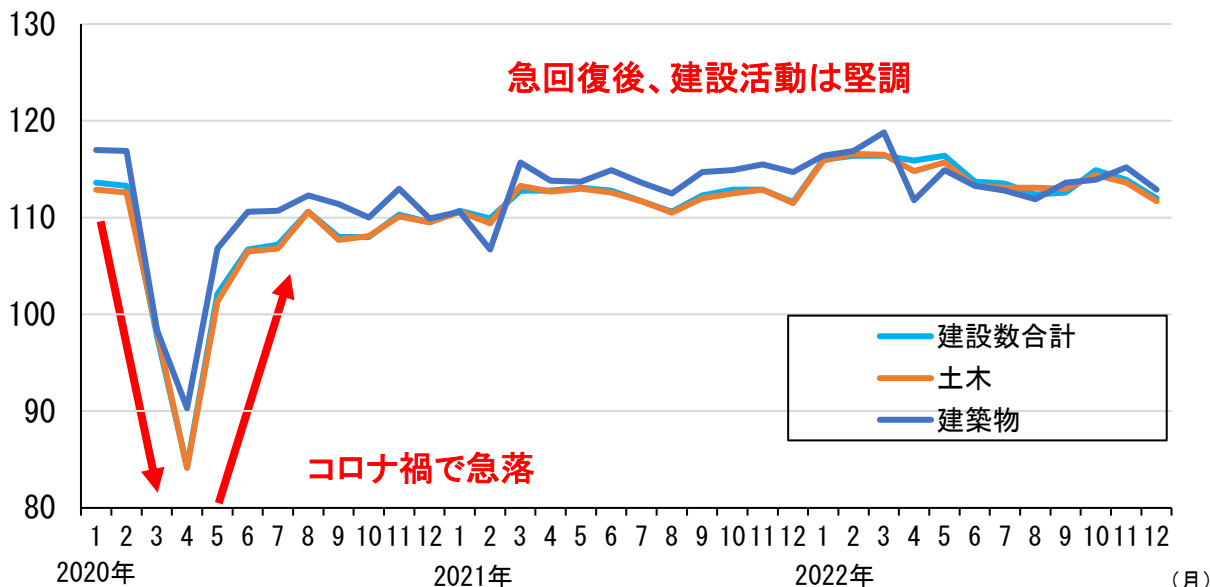
- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比114%の4,522万 m^3 。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比84%の1,960万 m^3 。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、2020年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量



○EUにおける建設活動水準 (2015年比)

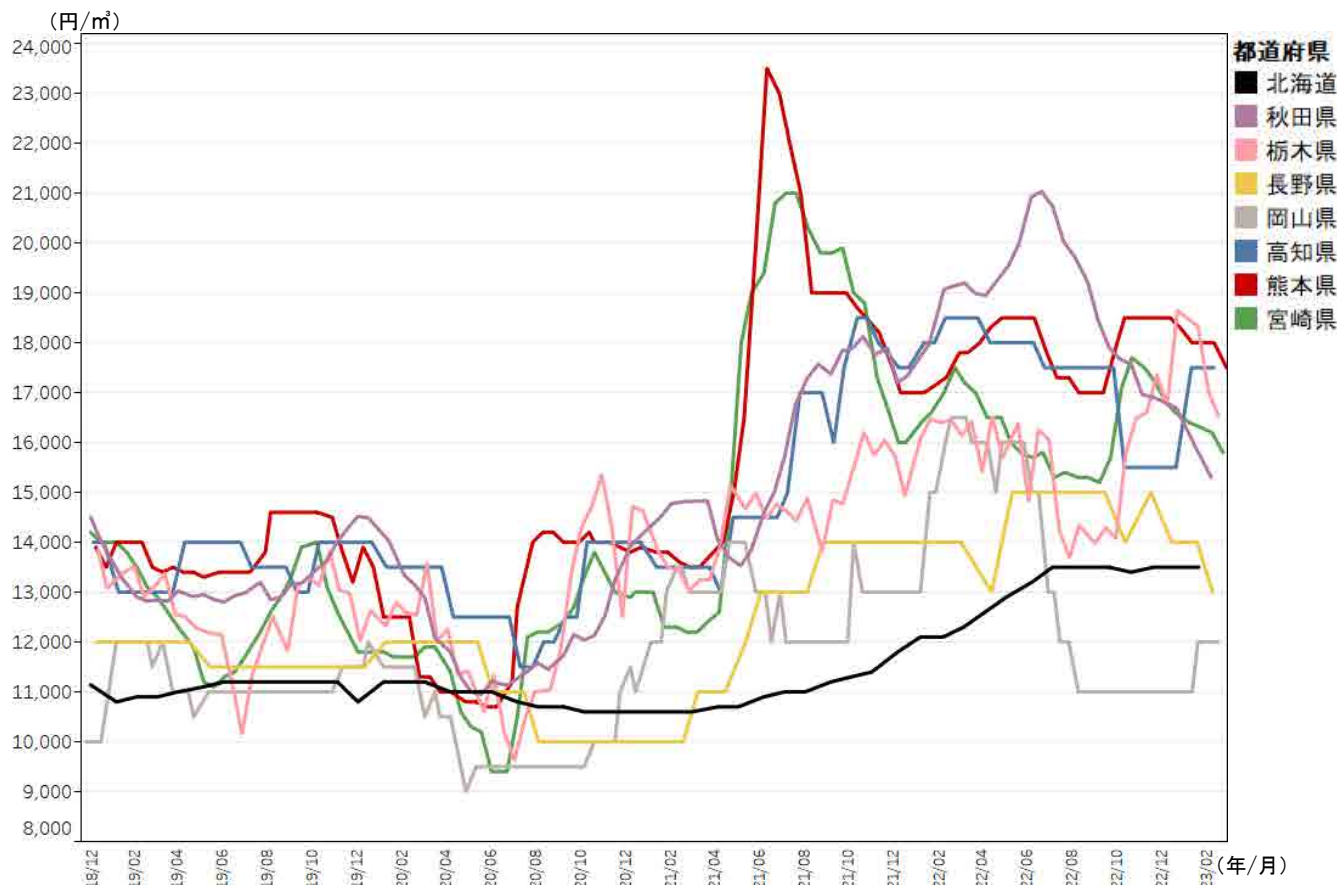
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 2021年4月以降、いわゆるウッドショックにより価格が大きく上昇し、その後一部の地域で下落したが、全般的には、2021年3月以前と比較すると高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、12,000円～17,500円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2023年直近※	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,500	12,100	112%
■ 秋田県	15,300	19,070	80%
■ 新潟県	16,530	16,450	100%
■ 長野県	13,000	14,000	93%
■ 岡山県	12,000	16,500	73%
■ 高知県	17,500	18,500	95%
■ 熊本県	17,500	17,800	98%
■ 宮崎県	15,800	17,500	90%

※北海道については1月、秋田県、新潟県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については2月の値を使用。

木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- ・ ヒノキにおいてもスギと同様に、2021年4月以降、価格が大きく上昇。その後下落傾向に転じているが、2021年3月以前と比較すると全般的に高い水準で推移。
- ・ 直近のヒノキ原木価格は、19,000円～23,270円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2023年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	23,270	27,800	84%
静岡県	21,000	23,000	91%
兵庫県	19,000	23,000	83%
岡山県	22,000	25,000	88%
広島県	21,100	26,000	81%
愛媛県	23,300	28,600	81%
高知県	23,000	28,000	82%
熊本県	22,000	24,600	89%
大分県	22,000	24,000	92%

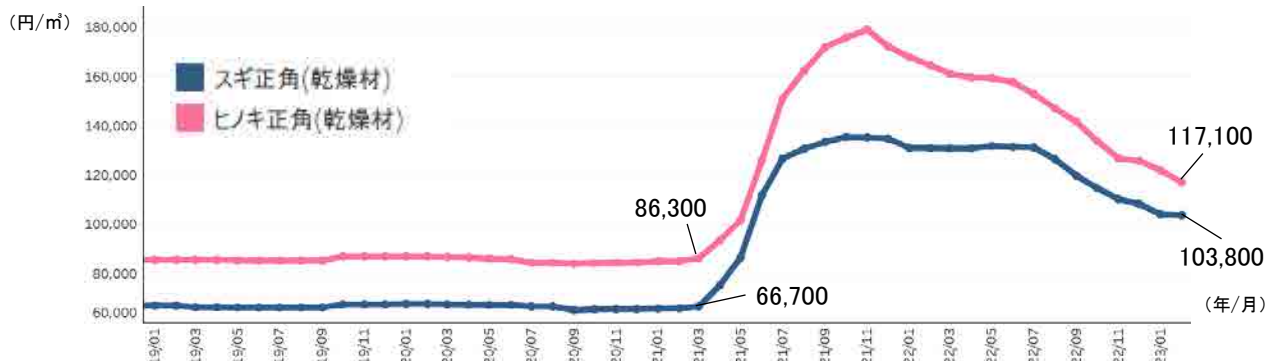
※各県2月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

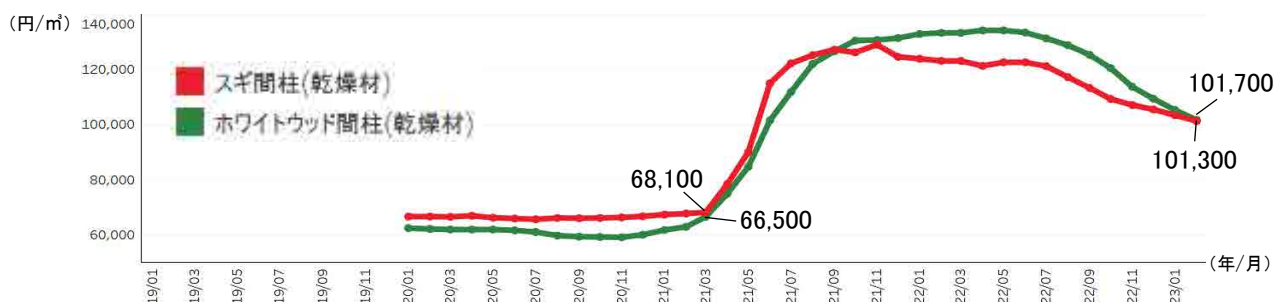
- 主な製材品及び針葉樹合板の全国平均価格は、いわゆるウッドショック以前（2021年3月以前）と比較すると、引き続き高い水準で推移。
- 2023年2月の正角（乾燥材）の価格について、スギは103,800円/㎥（前年同期比79%）、ヒノキは117,100円/㎥（同71%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは101,300円/㎥（前年同期比82%）、ホワイトウッドは101,700円/㎥（同76%）。
- 2022年12月の針葉樹合板の価格は、2,320円/枚（前年同期比134%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。
- 2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
- 3 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(1) 全国平均価格

年次	月	丸 太										製 材 品											
		スギ		ヒノキ		カラマツ		スギ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		米ツガ		スギ		ホワイトウッド	
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角(乾燥材)		正角		正角(乾燥材)		正角(防虫処理材)		間柱(乾燥材)		間柱(乾燥材)	
		14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	14-28cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	18cm上	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角、 4.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	3.0×10.5cm、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	3.0×10.5cm、 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)
2020年	1	13,000	92	18,700	98	12,700	105	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,900		66,600		62,400	
	2	13,100	94	18,500	98	12,800	106	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,800		66,600		62,100	
	3	12,800	93	17,800	96	12,700	102	11,300	100	62,700	102	67,500	102	79,000	103	86,800	101	79,800		66,500		61,900	
	4	12,300	92	16,800	92	12,700	105	11,200	99	62,700	102	67,400	102	77,400	101	86,600	101	79,800		66,900		61,900	
	5	12,000	91	16,200	91	12,600	103	11,200	99	62,500	101	67,300	102	77,400	101	86,100	101	79,700		66,200		61,900	
	6	11,800	90	15,900	91	12,500	102	11,100	98	62,500	101	67,300	102	78,600	103	85,900	101	79,600		65,900		61,600	
	7	11,900	92	15,400	88	12,400	101	11,000	98	62,200	101	66,700	101	77,200	101	84,400	99	79,500		65,600		61,000	
	8	12,800	97	16,000	92	12,400	98	10,800	96	62,200	101	66,700	101	76,700	100	84,400	99	79,500		66,100		59,700	
	9	12,800	96	17,000	97	12,500	99	10,700	96	62,200	101	65,100	98	76,700	100	84,000	98	79,300		66,000		59,300	
	10	13,100	96	17,500	97	12,400	97	10,800	95	62,200	99	65,500	97	76,700	98	84,300	97	79,300		66,100		59,200	
	11	13,400	99	18,200	97	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,700	98	84,400	97	79,300		66,300		59,100	
	12	13,400	99	18,300	98	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	77,200	99	84,500	97	79,300		66,700		60,000	
2021年	1	13,500	104	18,100	97	12,400	98	10,900	96	62,200	99	65,800	97	77,400	98	85,100	98	79,600	100	67,300	101	61,700	99
	2	13,300	102	18,700	101	12,500	98	11,000	96	62,200	99	65,900	97	77,400	98	85,100	98	79,800	100	67,700	102	62,900	101
	3	13,400	105	18,900	106	12,400	98	11,100	98	62,500	100	66,700	99	79,200	100	86,300	99	81,300	102	68,100	102	66,500	107
	4	13,600	111	19,800	118	12,400	98	11,300	101	64,500	103	75,300	112	79,400	103	93,500	108	87,500	110	78,400	117	74,900	121
	5	15,500	129	21,400	132	12,500	99	11,400	102	65,400	105	86,600	129	83,700	108	101,800	118	94,300	118	90,000	136	84,700	137
	6	17,500	151	25,200	158	13,100	105	11,900	107	70,100	112	111,800	166	87,900	112	126,100	147	103,600	130	115,000	175	101,500	165
	7	17,800	150	30,100	193	13,400	108	12,000	109	71,400	115	126,700	190	98,000	127	151,200	179	118,200	149	122,200	186	111,800	183
	8	18,100	141	32,100	201	13,500	109	12,300	114	68,900	114	130,600	196	93,700	121	162,300	192	126,700	159	125,200	189	122,000	204
	9	18,100	141	32,300	190	13,800	110	12,400	116	68,900	-	133,500	205	99,700	-	172,000	205	135,300	171	127,200	193	126,600	213
	10	18,000	137	33,000	189	13,900	112	12,700	118	69,000	-	135,500	207	96,200	-	175,700	208	136,600	172	126,200	191	130,500	220
	11	17,500	131	32,000	176	14,000	113	13,400	123	68,900	-	135,300	206	96,200	-	179,000	212	136,100	172	129,000	195	130,700	221
	12	17,200	128	29,100	159	14,000	113	13,900	128	67,800	-	134,900	206	95,500	-	172,300	204	136,100	172	124,600	187	131,400	219
2022年	1	16,900	125	29,100	161	14,400	116	14,200	130	67,600	-	131,000	199	94,800	-	168,000	197	139,200	175	123,900	184	132,900	215
	2	17,600	132	27,900	149	14,500	116	15,500	141	65,800	-	130,900	199	94,100	-	164,600	193	139,300	175	123,100	182	133,300	212
	3	17,800	133	27,600	146	14,800	119	15,700	141	65,800	-	130,800	196	93,400	-	161,100	187	139,300	171	123,100	181	133,300	200
	4	17,500	129	27,200	137	15,000	121	16,000	142	65,900	-	130,800	174	93,800	-	159,600	171	141,400	162	121,300	155	134,200	179
	5	17,900	115	26,500	124	16,000	128	16,100	141	65,900	-	131,800	152	93,400	-	159,400	157	142,100	151	122,600	136	134,200	158
	6	17,800	102	25,900	103	17,300	132	16,100	135	65,900	-	131,400	118	92,000	-	157,700	125	143,100	138	122,600	107	133,400	131
	7	17,500	98	25,300	84	17,000	127	16,200	135	65,900	-	131,200	104	91,200	-	153,000	101	143,500	121	121,200	99	131,300	117
	8	17,400	96	24,000	75	17,000	126	15,900	129	64,600	94	126,400	97	89,300	95	147,000	91	143,100	113	117,200	94	128,800	106
	9	17,400	96	21,900	68	16,900	122	15,700	127	63,500	92	119,800	90	88,400	89	141,600	82	142,400	105	113,300	89	125,300	99
	10	18,000	100	21,600	65	16,900	122	15,600	123	61,700	89	114,700	85	86,700	90	133,800	76	141,800	104	109,300	87	120,500	92
	11	17,800	102	22,100	69	16,700	119	15,400	115	61,700	90	110,200	81	85,900	89	126,800	71	141,200	104	107,100	83	113,700	87
	12	17,500	102	22,000	76	16,700	119	15,400	111	60,500	89	108,300	80	84,800	89	125,800	73	140,700	103	105,500	85	109,400	83
2023年	1	17,400	103	23,000	79	16,400	114	15,200	107	65,900	92	104,100	79	85,900	89	122,000	73	141,200	104	103,400	83	105,300	79
	2	17,300	98	23,000	82	16,300	112	15,200	98	65,900	92	103,800	79	85,900	89	117,100	71	141,200	104	101,300	82	101,700	76
2020年		12,700	94	17,200	95	12,500	101	11,100	98	62,400	101	66,700	100	77,600	101	85,500	100	79,600		66,300		60,800	
2021年		16,100	127	25,900	151	13,200	106	12,000	108	65,900	-	105,700	158	92,000	-	132,500	155	109,600	138	103,400	156	100,400	165
2022年		17,600	109	25,100	97	16,100	122	15,700	131	64,600	92	124,800	118	90,700	92	149,900	113	141,400	129	117,500	114	127,500	127
2020年	第1四半期	13,000	94	18,300	97	12,700	104	11,400	101	62,700	102	67,600	101	79,000	103	86,900	101	79,800		66,600		62,100	
	第2四半期	12,000	91	16,300	92	12,600	103	11,200	99	62,600	102	67,300	102	77,800	102	86,200	101	79,700		66,300		61,800	
	第3四半期	12,500	95	16,100	92	12,400	99	10,800	96	62,200	101	66,200	100	76,900	101	84,300	99	79,400		65,900		60,000	
	第4四半期	13,300	98	18,000	97	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,900	99	84,400	97	79,300		66,400		59,400	
2021年	第1四半期	13,400	103	18,600	102	12,400	98	11,000	96	62,300	99	66,100	98	78,000	99	85,500	98	80,200	101	67,700	102	63,700	103
	第2四半期	15,500	129	22,100	136	12,700	101	11,500	103	66,700	107	91,200	136	83,700	108	107,100	124	95,100	119	94,500	143	87,000	141
	第3四半期	18,000	144	31,500	196	13,600	110	12,200	113	65,900	-	130,300	197	92,000	-	161,800	192	126,700	160	124,900	190	120,100	200
	第4四半期	17,600	132	31,400	174	14,000	113	13,300	122	68,600	-	135,200	206	96,000	-	175,700							

年次	月	構造用集成材				合板		チップ							
		スギ集成管柱 国産、無化粧		ホワイトウッド集成管柱 国産、無化粧		針葉樹合板		チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		10.5角×2.98～3m JAS		10.5角×2.98～3m JAS		1.2×91.0cm、 1.82m		針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		(円/㎡) (参考値:注4)	(円/本)	(円/㎡) (参考値:注4)	(円/本)	(円/㎡) (参考値:注4)	(円/㎡)	(円/㎡)	(円/㎡)	(円/㎡)	(円/t)	(円/t)	(円/t)	(円/t)	
2020年	1	60,469	2,000	60,469	2,000	1,310	102	6,500	105	9,500	103	14,900	105	19,400	102
	2	60,469	2,000	60,469	2,000	1,310	102	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	3	63,492	2,100	60,469	2,000	1,300	101	6,500	105	9,400	101	14,900	105	19,400	102
	4	60,469	2,000	60,469	2,000	1,280	99	6,500	105	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	5	60,469	2,000	60,469	2,000	1,280	100	6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	6	60,469	2,000	60,469	2,000	1,260	98	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	7	63,492	2,100	60,469	2,000	1,220	95	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	8	63,492	2,100	60,469	2,000	1,220	95	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	9	63,492	2,100	60,469	2,000	1,200	93	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	10	60,469	2,000	60,469	2,000	1,200	92	6,500	102	9,500	100	14,800	101	19,300	100
	11	60,469	2,000	60,469	2,000	1,210	92	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
	12	60,469	2,000	57,445	1,900	1,220	93	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	1	63,492	2,100	57,445	1,900	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
	2	60,469	2,000	57,445	1,900	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	3	60,469	2,000	60,469	2,000	1,230	95	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
	4	63,492	2,100	66,515	2,200	1,250	98	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	5	66,515	2,200	72,562	2,400	1,270	99	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	6	72,562	2,400	84,656	2,800	1,290	102	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	7	75,586	2,500	96,750	3,200	1,330	109	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	8	90,703	3,000	117,914	3,900	1,360	111	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	9	96,750	3,200	142,101	4,700	1,410	118	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	10	105,820	3,500	154,195	5,100	1,490	124	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
	11	108,844	3,600	154,195	5,100	1,540	127	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	101
	12	111,867	3,700	154,195	5,100	1,730	142	6,700	103	9,500	100	14,600	99	19,400	101
2022年	1	111,867	3,700	157,218	5,200	1,890	154	6,700	103	9,500	100	15,000	101	19,400	100
	2	114,890	3,800	157,218	5,200	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	103	19,400	101
	3	111,867	3,700	154,195	5,100	2,070	168	6,800	105	9,600	101	15,100	103	19,400	101
	4	114,890	3,800	154,195	5,100	2,170	174	6,900	106	9,700	102	15,200	104	19,600	102
	5	114,890	3,800	154,195	5,100	2,210	174	7,000	104	9,700	102	15,300	105	19,800	103
	6	114,890	3,800	154,195	5,100	2,300	178	7,000	104	9,800	103	15,300	104	19,800	103
	7	111,867	3,700	142,101	4,700	2,360	177	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,800	103
	8	111,867	3,700	139,078	4,600	2,360	174	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,900	103
	9	111,867	3,700	133,031	4,400	2,350	167	7,200	107	9,800	103	15,300	104	19,900	103
	10	105,820	3,500	123,961	4,100	2,340	157	7,100	106	9,800	103	15,500	105	19,900	103
	11	102,797	3,400	120,937	4,000	2,340	152	7,200	107	9,900	104	15,700	107	20,200	105
	12	99,773	3,300	105,820	3,500	2,320	134	7,100	106	9,900	104	15,800	108	20,300	105
2023年	1	93,726	3,100	99,773	3,300	7,200	107	9,900	104	15,900	106	20,400	105		
	2	90,703	3,000	93,726	3,100	7,300	109	9,900	103	15,900	106	20,400	105		
2020年		60,469	2,000	60,469	2,000	1,250	97	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
2021年		81,633	2,700	102,797	3,400	1,360	109	6,600	102	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2022年		111,867	3,700	142,101	4,700	2,220	163	7,000	106	9,700	102	15,300	104	19,800	103
2020年	第1四半期	60,469	2,000	60,469	2,000	1,310	102	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	第2四半期	60,469	2,000	60,469	2,000	1,270	98	6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	第3四半期	63,492	2,100	60,469	2,000	1,210	94	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	第4四半期	60,469	2,000	60,469	2,000	1,210	92	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	第1四半期	60,469	2,000	57,445	1,900	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	第2四半期	66,515	2,200	75,586	2,500	1,270	100	6,600	102	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	第3四半期	87,680	2,900	117,914	3,900	1,370	113	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	第4四半期	108,844	3,600	154,195	5,100	1,590	131	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2022年	第1四半期	111,867	3,700	157,218	5,200	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	102	19,400	101
	第2四半期	114,890	3,800	154,195	5,100	2,230	176	7,000	106	9,700	102	15,300	105	19,700	102
	第3四半期	111,867	3,700	139,078	4,600	2,360	172	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,900	103
	第4四半期	102,797	3,400	117,914	3,900	2,300	145	7,100	106	9,900	104	15,700	107	20,100	104

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

- 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。
- 合板価格は、木材市売市場にあってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあっては店頭渡し価格である。
- 構造用集成材のm3当たりの価格は、1本を0.033075m3に換算して算出した。
- 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
青森	12,100	12,100	14,300	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	15,400	16,100	16,400	16,700	17,400	17,900	17,800	17,800	17,500	17,500	17,300	17,300
宮城	15,400	15,600	16,200	17,000	17,000	15,900	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
秋田	13,500	14,600	14,700	14,900	15,100	15,100	15,100	15,200	15,000	14,700	14,700	14,500
山形	17,100	17,200	17,200	18,100	18,400	18,400	19,400	19,300	19,300	19,200	19,200	20,500
福島	14,600	14,600	14,600	13,400	13,200	13,500	14,100	13,400	13,200	13,000	13,200	13,000
栃木	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	16,600	16,600	16,600	17,700	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300
静岡	18,200	18,500	18,800	18,900	19,300	19,300	18,900	18,300	18,400	19,000	19,200	18,900
三重	17,100	17,300	17,400	18,100	18,600	18,200	17,400	16,600	15,900	16,000	15,900	16,400
奈良	16,800	16,800	16,800	17,900	17,900	17,900	17,400	16,900	16,900	15,800	14,300	14,800
岡山	13,800	13,800	13,800	13,800	15,300	15,300	14,300	14,000	14,000	14,000	14,000	14,300
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	16,700	16,700
愛媛	18,600	20,800	22,900	23,000	22,900	22,900	20,800	20,800	20,800	19,700	18,700	18,700
佐賀	17,000	17,000	17,600	17,600	17,600	17,600	17,100	17,100	17,100	17,100	17,000	17,000
熊本	19,400	21,400	21,400	19,000	21,300	21,700	21,400	21,600	22,200	25,800	21,900	21,400
大分	18,800	19,500	18,600	17,800	18,000	17,700	17,500	17,900	18,500	18,300	18,500	17,900
宮崎	17,200	17,800	18,000	17,700	17,700	17,700	17,500	16,800	16,900	17,900	19,000	18,000
鹿児島	18,800	18,300	18,300	18,300	18,800	18,700	18,700	18,500	17,600	18,300	18,800	18,800

・2023年

都道府県	1 月	2 月
青森	14,400	13,300
岩手	17,300	17,000
宮城	14,800	14,200
秋田	14,300	13,800
山形	20,500	20,500
福島	13,200	13,300
栃木	16,500	16,500
岐阜	18,300	18,300
静岡	18,600	18,300
三重	16,600	16,900
奈良	15,800	15,300
岡山	14,000	14,000
徳島	16,700	16,700
愛媛	18,700	18,700
佐賀	16,500	16,500
熊本	20,800	20,800
大分	17,900	18,200
宮崎	17,900	17,800
鹿児島	18,800	18,800

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
福島	35,500	34,900	34,400	32,800	32,800	30,600	27,400	25,100	21,500	21,400	22,900	23,000
茨城	29,400	28,300	28,000	28,000	27,800	26,800	24,500	21,900	21,000	21,200	21,800	22,300
栃木	31,100	31,000	30,000	29,700	29,700	28,700	28,700	26,400	26,400	26,500	26,500	25,500
岐阜	30,500	28,900	28,900	28,900	27,600	27,000	26,600	25,600	24,400	24,400	23,600	23,600
静岡	33,300	31,000	29,400	29,400	28,900	28,500	27,600	27,500	26,200	25,900	27,200	26,000
三重	25,600	26,900	27,000	27,200	26,200	24,500	22,800	22,300	22,000	21,500	22,500	22,600
兵庫	33,000	32,900	30,700	30,600	30,600	30,500	27,200	27,200	27,100	24,900	25,000	25,000
奈良	29,000	29,900	30,000	28,900	27,800	26,800	23,800	21,800	19,800	19,800	20,900	23,900
和歌山	25,900	25,900	25,900	25,900	25,500	25,500	23,700	22,900	22,900	22,200	22,200	21,900
岡山	22,300	22,000	26,200	27,900	24,900	24,400	23,900	22,500	16,500	17,000	21,300	21,700
広島	35,900	28,900	28,600	28,200	27,300	26,700	26,800	26,200	21,500	20,400	19,400	19,800
愛媛	30,100	29,000	28,200	27,200	28,100	28,200	27,700	24,900	22,000	21,300	19,900	19,900
高知	29,900	29,100	27,200	27,400	27,200	26,400	26,800	26,500	22,600	21,200	20,200	20,400
熊本	30,300	27,600	27,500	27,100	28,100	28,200	26,800	25,400	25,600	25,400	25,500	24,600
大分	27,300	25,100	23,400	19,800	17,600	15,400	19,000	18,700	18,700	18,700	18,400	17,500
宮崎	31,200	30,100	27,500	25,300	24,800	25,000	23,900	22,100	22,000	22,600	23,700	23,000

・2023年

都道府県	1 月	2 月
福島	25,600	25,500
茨城	23,300	23,500
栃木	25,700	25,700
岐阜	22,300	22,300
静岡	24,900	24,600
三重	23,500	23,600
兵庫	25,000	25,000
奈良	26,900	26,800
和歌山	22,000	21,900
岡山	25,900	25,100
広島	22,800	25,100
愛媛	20,000	20,200
高知	21,700	21,500
熊本	25,700	25,700
大分	18,400	17,900
宮崎	21,900	22,600

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体にに関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500	15,800	15,500	15,700	15,500	15,600	15,600	15,800
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500	32,000	32,200	30,500	30,500	30,100	28,200	25,700

・2023年

都道府県	1 月	2 月
北海道	15,500	15,400
岩手	25,700	25,700

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100	15,100	14,500	13,800	13,800	13,800	13,800	13,100
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800	17,800	18,100	17,800	17,100	16,900	16,200	16,200
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600	15,500	15,700	15,400	15,300	15,400	15,200	15,200

・2023年

都道府県	1 月	2 月
岩手	13,100	13,100
宮城	16,400	16,400
秋田	16,100	16,000
島根	15,000	15,100

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
千葉			88,000			88,000			77,300			77,300
東京			58,800			58,800			57,300			53,500
大阪			103,100			103,100			103,100			103,100
福岡			58,600			60,500			58,600			56,700

・2023年

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500	124,400	123,700	112,200	109,800	96,100	95,700	95,400
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800	140,800	140,800	135,500	135,500	134,700	132,400	131,600
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,800	148,800	132,800	132,400	126,800	121,000
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000	152,300	151,600	151,500	146,300	139,800	134,000	134,000
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100	120,100	120,100	117,300	114,400	110,500	109,700	108,300
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300	121,700	121,700	111,900	111,900	110,000	105,200	105,200
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000	143,700	143,700	134,300	131,200	128,000	122,600	119,400
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400	120,300	120,300	117,600	113,800	110,100	102,800	102,800

・2023年

都道府県	1 月	2 月
埼玉	94,400	94,400
千葉	130,800	120,200
東京	109,800	109,800
神奈川	128,700	128,300
愛知	106,900	105,700
大阪	99,700	99,000
兵庫	111,600	111,600
福岡	102,800	102,800

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体にに関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
千葉			98,200			98,100			92,000			91,000
東京			x			x			x			x
愛知			94,800			94,800			93,500			93,500
大阪			119,700			112,100			107,900			100,300
兵庫			116,300			114,300			106,300			95,500
福岡			82,500			86,600			84,200			82,500

・2023年

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
埼玉	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500	141,800	139,800	128,600	122,800	110,100	109,700	109,700
千葉	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800	164,800	164,800	158,100	158,100	156,100	150,200	150,200
東京	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500	175,500	175,200	175,200	164,600	164,200	153,400	153,400
神奈川	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300	181,900	178,600	173,300	167,300	151,900	146,500	145,600
愛知	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700	149,700	137,000	131,600	130,700	124,600	117,000	115,100
大阪	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700	159,800	154,400	152,600	147,000	137,800	130,600	130,600
兵庫	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100	161,200	156,600	143,000	138,400	131,500	117,900	113,300

・2023年

都道府県	1 月	2 月
埼玉	108,400	108,400
千葉	150,200	146,800
東京	153,200	142,700
神奈川	138,900	133,700
愛知	114,900	109,800
大阪	118,900	110,700
兵庫	112,600	112,600

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2022年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道			135,700			138,000			138,000			138,000
埼玉			144,700			148,800			151,900			147,200
千葉			139,800			142,400			142,400			140,700
東京			154,400			154,400			154,400			154,000
神奈川			142,200			143,100			143,100			140,800
愛知			158,300			158,300			145,500			143,000
大阪			121,000			132,000			132,000			132,000
兵庫			138,500			141,800			141,800			145,000

・2023年

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった

（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

単位：円／m ³												
都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
埼玉県	115,400	113,300	113,300	116,600	120,600	120,100	116,900	111,200	103,800	99,500	96,100	96,100
千葉県	120,300	120,300	120,300	120,200	120,200	120,200	120,200	115,200	110,300	107,500	103,600	102,800
東京都	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	122,200	122,200	120,900	115,400	107,500	104,800
神奈川県	134,400	132,900	132,900	132,900	132,900	131,800	131,300	128,900	122,200	117,500	116,100	114,900
愛知県	121,800	119,300	119,300	119,300	120,500	120,500	120,500	113,700	110,300	106,900	106,500	102,400
大阪府	112,200	112,200	112,200	112,200	121,000	118,800	118,800	110,000	110,000	110,000	105,600	101,200
兵庫県	137,000	137,000	137,000	137,200	142,000	142,400	137,200	131,900	126,600	121,200	121,100	115,700
広島県	167,200	167,200	167,200	141,900	138,100	140,800	140,800	140,800	138,500	127,300	127,300	125,300
福岡県	107,100	107,100	107,100	107,100	106,900	106,900	106,900	105,900	105,900	104,900	104,900	104,900

単位：円／m ³		
都道府県	1 月	2 月
埼玉県	95,000	92,900
千葉県	102,400	98,700
東京都	96,800	96,700
神奈川県	111,200	107,900
愛知県	97,700	93,700
大阪府	95,700	95,700
兵庫県	110,500	110,500
広島県	124,700	121,500
福岡県	104,500	104,500

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・ 2022年												単位：円／m ³	
都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
埼玉	111,300	111,300	111,300	121,000	122,400	122,400	119,000	114,700	111,500	107,800	99,900	95,200	
千葉	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	145,600	143,800	134,800	134,600	127,700	
東京	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	144,400	131,300	130,000	122,900	
神奈川	139,200	137,800	137,800	137,800	138,500	139,000	136,700	136,000	133,000	125,300	121,700	121,700	
愛知	126,900	128,100	128,100	127,900	127,900	127,200	126,900	126,500	122,200	115,200	106,700	101,200	
大阪	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	126,900	121,600	115,500	110,600	110,000	104,500	99,000	
兵庫	140,400	143,200	143,200	143,200	143,200	143,200	140,400	137,500	134,600	134,600	115,700	112,900	
広島	126,300	126,300	126,300	125,600	121,500	125,600	125,400	124,300	122,400	122,400	119,700	117,600	

単位：円／m ³		
都道府県	1 月	2 月
埼玉県	94,700	93,200
千葉県	125,000	122,600
東京都	121,200	120,000
神奈川県	118,700	113,200
愛知県	97,400	91,000
大阪府	93,500	93,100
兵庫県	104,500	101,600
広島県	112,300	105,400

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・ 2022年

単位：円／本

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300	4,200	4,000	4,000	4,000	3,800	3,600	3,700
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300	4,400	4,400	4,400	4,200	4,200	4,000	4,000

単位：円／本		
都道府県	1 月	2 月
秋田県	3,500	3,400
宮崎県	3,500	3,500

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・ 2022年

単位：円／本

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	4,900	4,700	4,500	4,400	4,200	4,000

単位：円／本		
都道府県	1 月	2 月
岡山県	3,600	3,400

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・ 2022年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
埼玉			2,220			2,420			2,390			2,350
東京			2,140			2,420			2,410			2,410
大阪			1,840			1,990			2,220			2,130

・2023年

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○チップ用丸太（針葉樹）

・ 2022年													単位：円／m ³
都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100	7,300	7,200	7,300	7,300	7,300	7,400	7,400	
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800	6,800	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200	6,100	6,100	5,900	6,600	6,300	6,400	5,700	
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900	7,200	7,300	7,700	7,800	7,400	7,400	7,500	
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	7,200	
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600	9,700	10,100	10,100	10,200	9,600	9,800	9,800	
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000	6,300	6,400	6,500	6,400	6,300	5,900	6,100	
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800	5,400	5,700	5,600	5,600	5,900	6,000	5,600	
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000	7,800	7,000	6,800	7,100	7,400	7,600	7,400	
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,900	7,900	8,000	8,000	
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	

・ 2023年		
都道府県	1 月	2 月
北海道	7,400	7,400
青森	7,000	7,000
岩手	7,300	7,300
宮城	6,000	6,000
秋田	7,000	7,000
山形	6,200	6,200
福島	6,800	6,100
栃木	5,300	5,300
山梨	7,700	8,800
長野	7,200	7,200
京都	8,900	8,900
兵庫	7,200	7,200
島根	9,400	8,500
広島	6,100	5,900
高知	5,600	5,600
熊本	8,200	9,100
宮崎	8,000	8,000
鹿児島	8,200	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・ 2022年													単位：円／m ³
都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900	11,900	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,400	
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000	12,400	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	9,000	9,400	9,400	
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800	6,800	7,000	7,500	7,500	7,500	7,400	7,400	
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600	10,500	10,700	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,100	6,000	6,000	
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100	9,000	8,800	8,900	9,100	8,900	9,100	8,900	
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500	8,500	8,300	8,300	8,300	8,300	8,400	8,400	
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	

・ 2023年		
都道府県	1 月	2 月
北海道	9,900	9,900
青森	12,100	12,100
岩手	11,400	11,400
宮城	9,000	9,000
秋田	12,500	12,500
山形	9,700	9,700
福島	8,900	9,000
山梨	7,500	7,500
島根	10,700	10,700
広島	6,000	6,000
熊本	8,700	9,000
宮崎	8,400	8,700
鹿児島	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」
注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。
注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○木材チップ（針葉樹）

・ 2022年

単位：円／t

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,200	15,400	15,400
青森	15,600	15,600	15,600	16,200	16,300	16,300	16,700	16,700	16,700	17,000	17,200	17,200
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	17,100	17,100
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,800	19,800
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500	16,700	16,800	16,800	16,300	16,300	16,500	16,700	16,700
福島	18,100	18,100	18,100	18,100	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	19,300	21,200
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	18,000	18,000
京都	19,200	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,900	19,900	19,900	21,900	21,900	22,000
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700	18,800	18,800	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600
広島	15,300	15,300	15,600	15,600	15,600	15,800	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,000
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900	21,300	21,300	21,300	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200	19,500	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	20,900
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,200	18,300	18,600
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	12,500	12,500	12,500
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

・ 2023年

都道府県	1 月	2 月
北海道	15,400	15,400
青森	17,700	17,700
岩手	17,100	17,100
宮城	19,800	19,800
秋田	16,800	16,900
福島	21,200	21,200
茨城	7,500	7,500
栃木	12,800	12,800
富山	18,100	18,100
静岡	18,000	18,000
京都	22,000	22,000
兵庫	19,300	19,300
岡山	14,600	14,600
広島	16,000	16,000
徳島	21,600	21,600
愛媛	12,900	12,900
高知	20,900	20,900
熊本	18,600	18,600
大分	12,500	12,500
宮崎	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000

○木材チップ（広葉樹）

・ 2022年

単位：円／t

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700	20,700	20,700	20,800	20,800	20,800	20,900	21,100	21,200
青森	18,500	18,500	18,500	18,800	18,800	18,800	19,100	19,100	19,100	19,300	19,500	19,500
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,600	19,700
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	20,500	20,500
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,800	21,400
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600	15,900	15,900	16,000	17,400	17,400	17,400	17,400	17,400
島根	20,800	20,800	20,800	21,700	22,400	22,400	22,400	22,400	22,600	22,600	22,600	22,600
広島	19,700	19,800	19,800	19,700	19,700	19,700	19,700	19,800	19,800	19,800	19,900	20,300
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	22,800
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500	20,500	20,500	20,900	20,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・ 2023年

都道府県	1 月	2 月
北海道	21,200	21,200
青森	19,800	19,800
岩手	19,700	19,700
宮城	20,500	20,500
秋田	22,000	22,200
福島	21,400	21,400
栃木	16,400	16,400
山梨	17,400	17,400
島根	22,600	22,600
広島	20,300	20,300
熊本	22,800	22,800
宮崎	21,000	21,000
鹿児島	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」
注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。
注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

木材需給情報- 1 木材需要の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総需要量は、82,130千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,742千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内消費量は、78,879千 m^3 （対前年比110.4%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、パルプ・チップ用材の+2,629千 m^3 （同110.6%）、燃料材の+1,938千 m^3 （同115.1%）である。
- 輸出量は、3,251千 m^3 （対前年比108.0%）となった。この中で、前年に比べて増加したものは、丸太（用材）の+75千 m^3 （同105.4%）、製材品等の+60千 m^3 （同121.8%）、合板等の+58千 m^3 （同132.4%）、木材パルプ・チップ等の+50千 m^3 （同104.3%）である。

木 材 需 要 の 動 向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)		
総 需 要 量	用 材	製 材 用 材	26,179	31.9	24,597	33.0	1,582	106.4
		合 板 用 材	10,294	12.5	8,919	12.0	1,375	115.4
		パ ル プ ・ チ ッ プ 用 材	28,743	35.0	26,064	35.0	2,679	110.3
		そ の 他 用 材	1,926	2.3	1,812	2.4	114	106.3
		小 計	67,142	81.8	61,392	82.5	5,750	109.4
	し い た け 原 木		246	0.3	242	0.3	4	101.7
	燃 料 材		14,742	17.9	12,805	17.2	1,937	115.1
	計		82,130	100.0	74,439	100.0	7,691	110.3
国 内 消 費	用 材	製 材 用 材	25,844	32.8	24,321	34.0	1,523	106.3
		合 板 用 材	10,056	12.7	8,741	12.2	1,315	115.0
		パ ル プ ・ チ ッ プ 用 材	27,529	34.9	24,900	34.9	2,629	110.6
		そ の 他 用 材	466	0.6	426	0.6	40	109.4
		小 計	63,895	81.0	58,387	81.7	5,508	109.4
	し い た け 原 木		246	0.3	242	0.3	4	101.7
	燃 料 材		14,738	18.7	12,800	17.9	1,938	115.1
	計		78,879	100.0	71,430	100.0	7,449	110.4
輸 出	用 材	丸 太	1,459	44.9	1,384	46.0	75	105.4
		製 材 品 等	335	10.3	275	9.2	60	121.8
		合 板 等	237	7.3	179	5.9	58	132.4
		木 材 パ ル プ ・ チ ッ プ 等	1,214	37.3	1,164	38.7	50	104.3
		そ の 他	2	0.1	3	0.1	△ 1	66.7
		小 計	3,247	99.9	3,005	99.8	242	108.1
	燃 料 材		4	0.1	5	0.2	△ 1	80.0
	計		3,251	100.0	3,009	100.0	242	108.0

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

注：1）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2）輸出の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

3）輸出の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

4）輸出の木材パルプ・チップ等は、木材パルプ、木材チップ、再生木材である。

5）輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

6）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報- 1 木材供給の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総供給量は、82,130千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,742千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内生産量は、33,721千 m^3 （対前年比108.3%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、丸太（用材）の+2,092千 m^3 （同109.6%）である。
- 輸入量は、48,409千 m^3 （対前年比111.8%）となった。この中で、前年に比べ増加量が大きかったものは、木材チップ等の+2,538千 m^3 （同115.2%）、燃料材の+1,516千 m^3 （同139.1%）である。一方で、製材品等は△218千 m^3 （同97.8%）、木材パルプは△198千 m^3 （同96.0%）と減少した。

木 材 供 給 の 動 向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千m ³)	対前年 比 (%)		
			数量 (千m ³)	構成比 (%)	数量 (千m ³)	構成比 (%)				
総供給量	用材	丸 太	27,845	33.9	25,180	33.8	2,665	110.6		
		林 地 残 材	161	0.2	106	0.1	55	151.9		
		輸 入 木 材 製 品	39,136	47.7	36,106	48.5	3,030	108.4		
		小 計	67,142	81.8	61,392	82.5	5,750	109.4		
	し い た け 原 木		246	0.3	242	0.3	4	101.7		
	燃 料 材		14,742	17.9	12,805	17.2	1,937	115.1		
	計		82,130	100.0	74,439	100.0	7,691	110.3		
国内生産	用材	丸 太	23,966	71.1	21,874	70.2	2,092	109.6		
		林 地 残 材	161	0.5	106	0.3	55	151.9		
		小 計	24,127	71.5	21,980	70.6	2,147	109.8		
	し い た け 原 木		246	0.7	242	0.8	4	101.7		
	燃 料 材		9,348	27.7	8,927	28.7	421	104.7		
計		33,721	100.0	31,149	100.0	2,572	108.3			
輸 入	用材	木材製品	丸 太	3,879	8.0	3,306	7.6	573	117.3	
			製 材 品 等	合 板 等	9,903	20.5	10,121	23.4	△ 218	97.8
				木 材 パ ル プ	5,201	10.7	4,293	9.9	908	121.2
				木 材 チ ッ プ 等	4,799	9.9	4,997	11.5	△ 198	96.0
				木 材 チ ッ プ 等	19,184	39.6	16,646	38.5	2,538	115.2
				そ の 他	49	0.1	49	0.1	0	100.0
		細 計		39,136	80.8	36,106	83.4	3,030	108.4	
		小 計		43,015	88.9	39,412	91.0	3,603	109.1	
	燃 料 材		5,394	11.1	3,878	9.0	1,516	139.1		
計		48,409	100.0	43,290	100.0	5,119	111.8			

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

4）輸入の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

5）輸入の木材チップ等は、木材チップ、再生木材である。

6）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

7）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報- 1 木材自給率の動向（2021年木材需給表）

- 建築用材等の自給率は、製材用材の国内生産が大きく増加したこと等により、対前年比で0.8ポイント上昇し、48.0%となった。
- 非建築用材等の自給率は、パルプ・チップ用材及び燃料材の輸入が大きく増加したこと等により、対前年比で2.0ポイント低下し、35.5%となった。
- これらを合わせた総数での自給率は、対前年比で0.7ポイント低下し、41.1%となった。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量÷総需要量（※）×100
※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

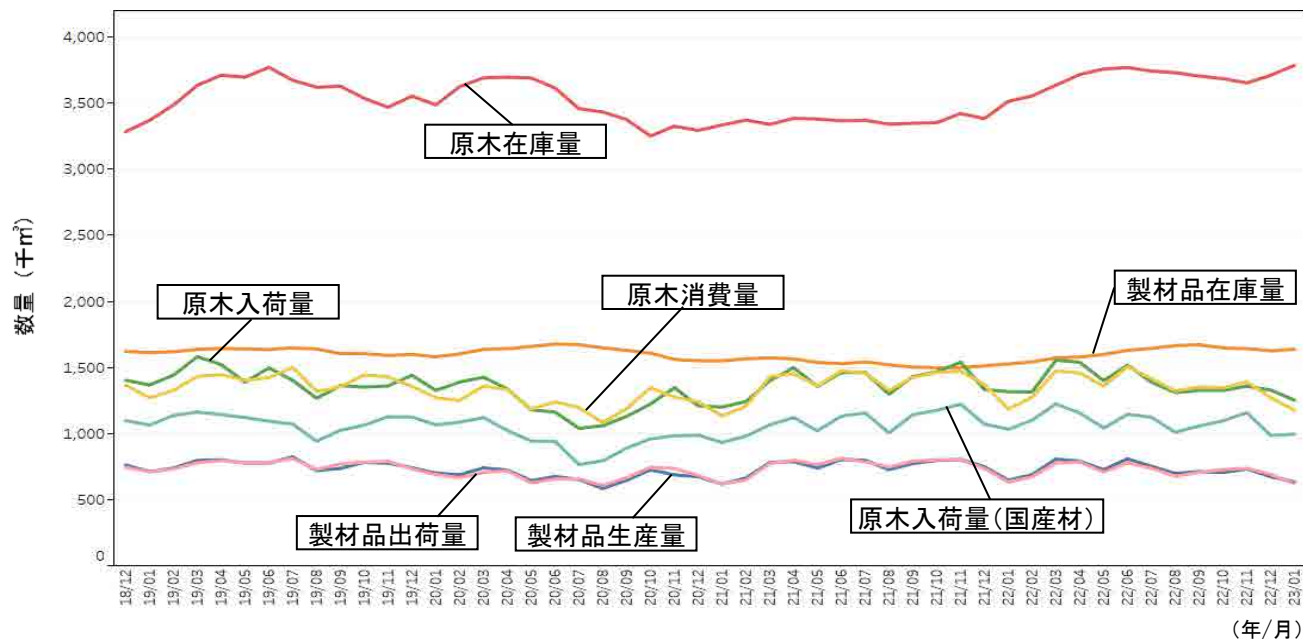
木 材 自 給 率 の 動 向

区 分			2021年	2020年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年比 (%)
			数 量 (千m ³)	数 量 (千m ³)		
建築用材等		国 内 生 産	17,522	15,810	1,712	110.8
		輸 入	18,951	17,706	1,245	107.0
		総 需 要 量	36,473	33,516	2,957	108.8
		自 給 率	48.0%	47.2%	0.8ポ ^ン ト	
用材	製 材 用 材	国 内 生 産	12,861	11,615	1,246	110.7
		輸 入	13,318	12,982	336	102.6
	総 需 要 量	26,179	24,597	1,582	106.4	
	自 給 率	49.1%	47.2%	1.9ポ ^ン ト		
合 板 用 材	国 内 生 産	4,661	4,195	466	111.1	
	輸 入	5,633	4,724	909	119.2	
		総 需 要 量	10,294	8,919	1,375	115.4
		自 給 率	45.3%	47.0%	△ 1.7ポ ^ン ト	
非建築用材等		国 内 生 産	16,199	15,339	860	105.6
		輸 入	29,458	25,584	3,874	115.1
		総 需 要 量	45,658	40,923	4,735	111.6
		自 給 率	35.5%	37.5%	△ 2.0ポ ^ン ト	
用材	ハ ^ル プ [・] チ ^ッ プ [・] 用 材	国 内 生 産	4,744	4,420	324	107.3
		輸 入	24,000	21,644	2,356	110.9
	総 需 要 量	28,743	26,064	2,679	110.3	
	自 給 率	16.5%	17.0%	△ 0.5ポ ^ン ト		
その他 用 材		国 内 生 産	1,862	1,750	112	106.4
		輸 入	65	62	3	104.8
	総 需 要 量	1,926	1,812	114	106.3	
	自 給 率	96.6%	96.6%	0.0ポ ^ン ト		
しいたけ 原 木		国 内 生 産	246	242	4	101.7
		輸 入	-	-	-	-
	総 需 要 量	246	242	4	101.7	
	自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポ ^ン ト		
燃料材		国 内 生 産	9,348	8,927	421	104.7
		輸 入	5,394	3,878	1,516	139.1
	総 需 要 量	14,742	12,805	1,937	115.1	
	自 給 率	63.4%	69.7%	△ 6.3ポ ^ン ト		
総 数		国 内 生 産	33,721	31,149	2,572	108.3
		輸 入	48,409	43,290	5,119	111.8
		総 需 要 量	82,130	74,439	7,691	110.3
		自 給 率	41.1%	41.8%	△ 0.7ポ ^ン ト	
うち 用材の計		国 内 生 産	24,127	21,980	2,147	109.8
		輸 入	43,015	39,412	3,603	109.1
		総 需 要 量	67,142	61,392	5,750	109.4
		自 給 率	35.9%	35.8%	0.1ポ ^ン ト	

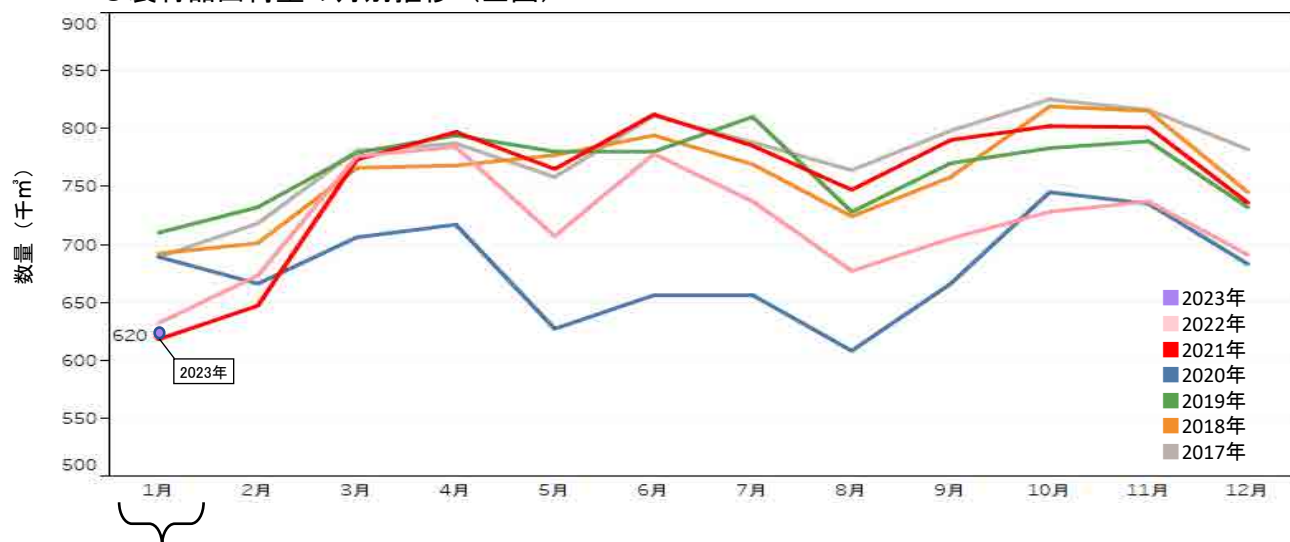
資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）
注）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1月の原木の入荷量は、1,252千 m^3 （2019年比 92%）。
- 同様に製材品の出荷量は、620千 m^3 （2019年比 87%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）

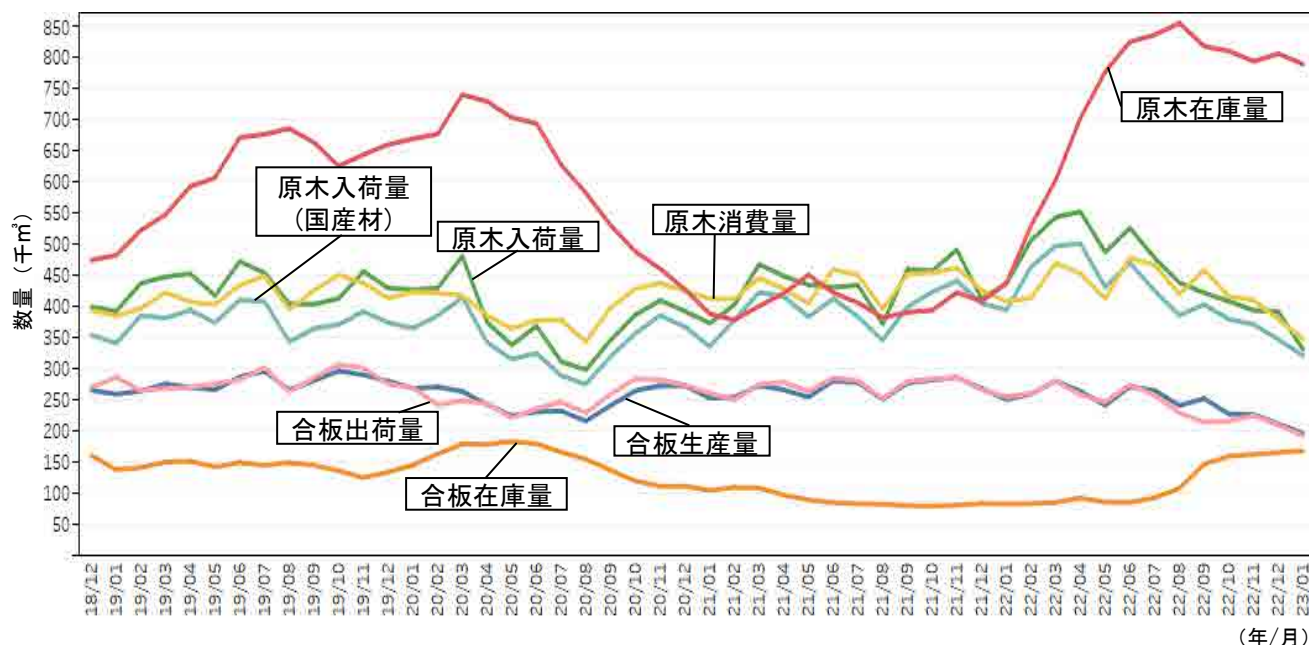


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1月原木入荷 合計(千 m^3)	1,254	1,335	1,367	1,326	1,200	1,316	1,252
2019年との比較※	92%	98%	—	97%	88%	96%	92%
1月出荷量 合計(千 m^3)	689	692	710	689	618	632	620
2019年との比較※	97%	97%	—	97%	87%	89%	87%

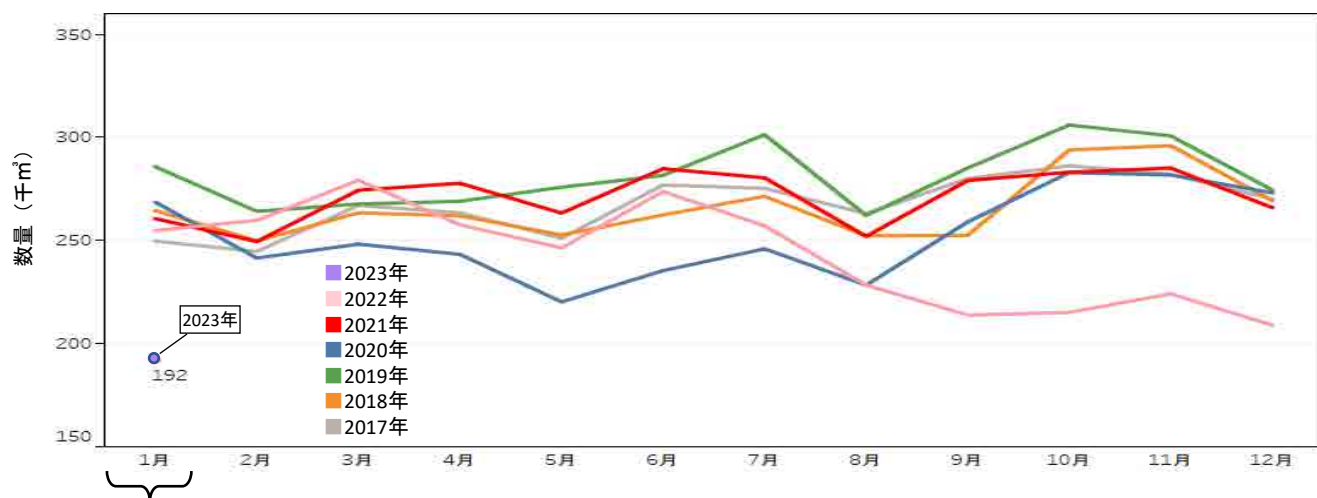
※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「製材統計」

- 2023年1月の原木の入荷量は、330千 m^3 （2019年比 84%）。
- 同様に合板の出荷量は、192千 m^3 （2019年比 67%）。



○合板出荷量の月別推移（全国）

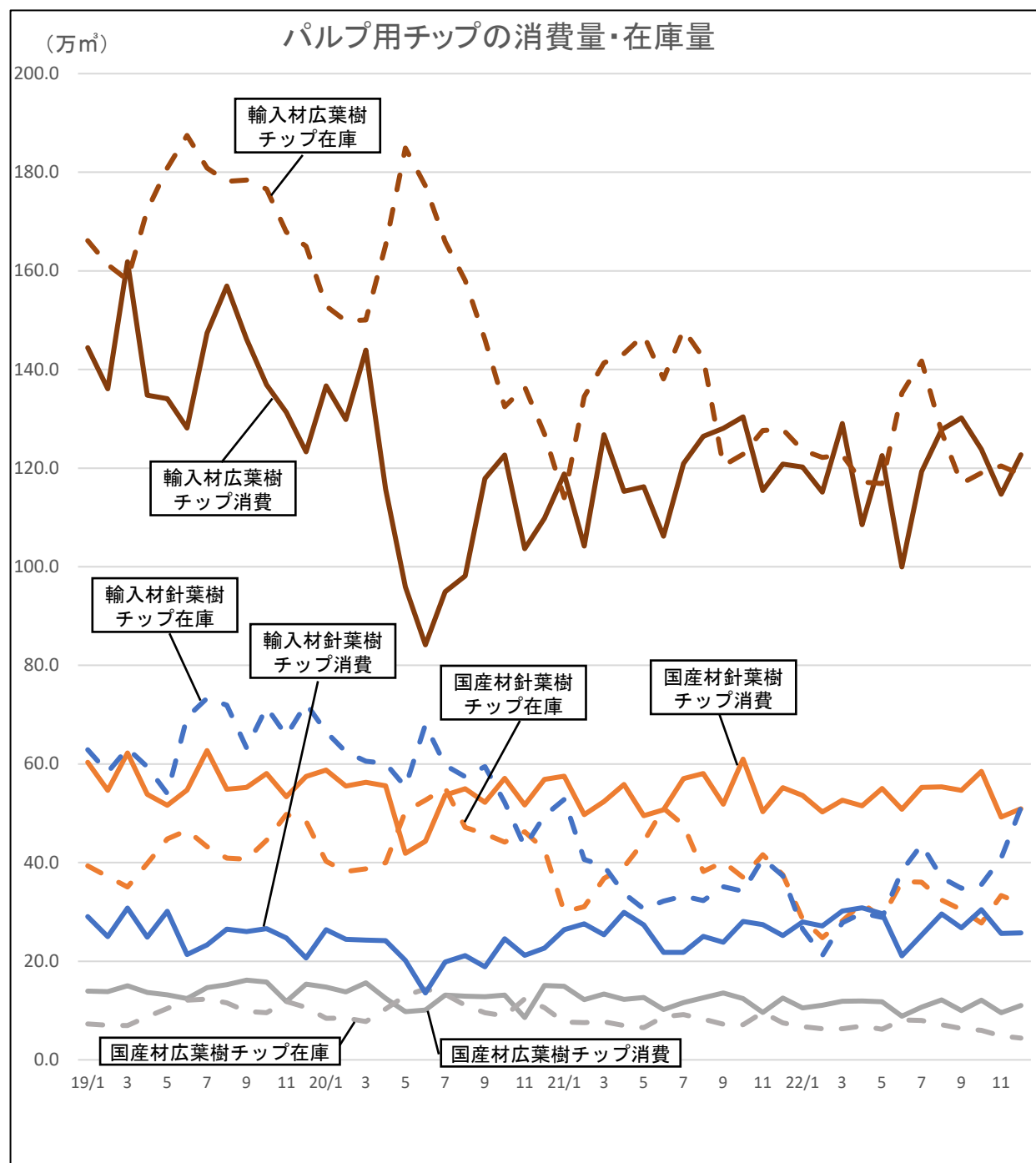


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1月原木入荷量 合計(千 m^3)	294	361	392	426	372	436	330
2019年との比較※	75%	92%	—	109%	95%	111%	84%
1月出荷量 合計(千 m^3)	250	265	286	269	261	255	192
2019年との比較※	87%	93%	—	94%	91%	89%	67%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「合板統計」

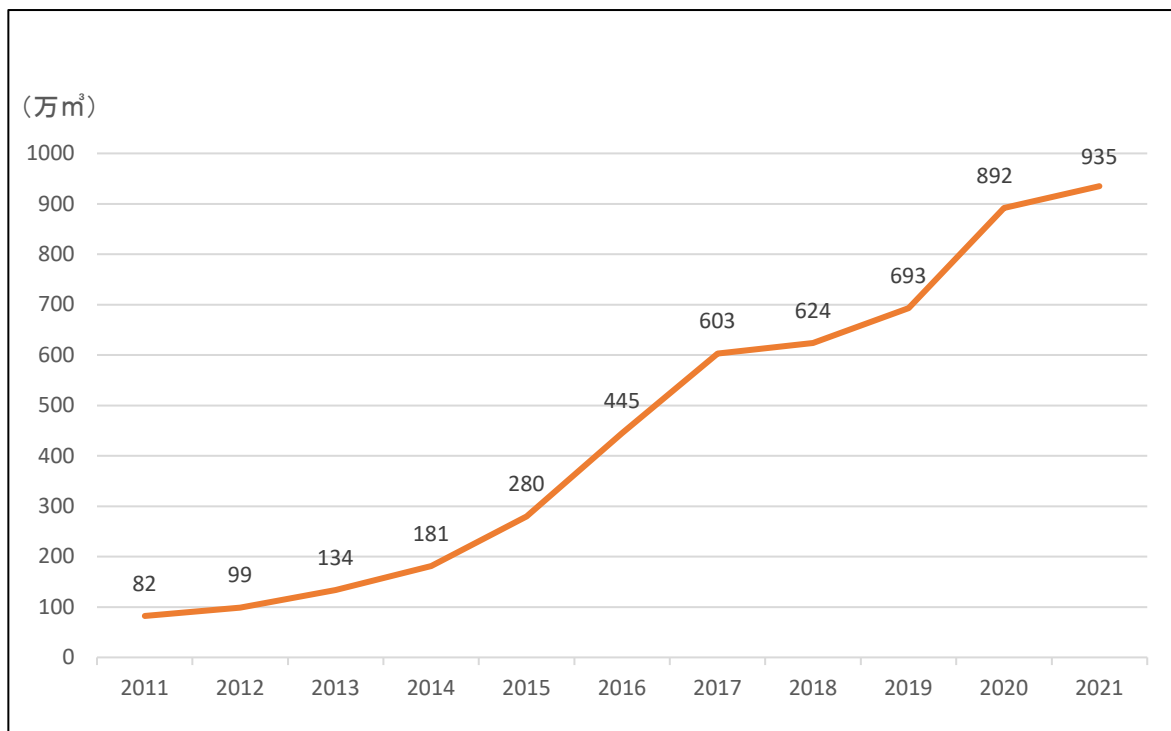
- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで大きく減少し、その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約11倍)。
- 紙の生産高は2020年6月に減少したが、その後一定程度回復している。

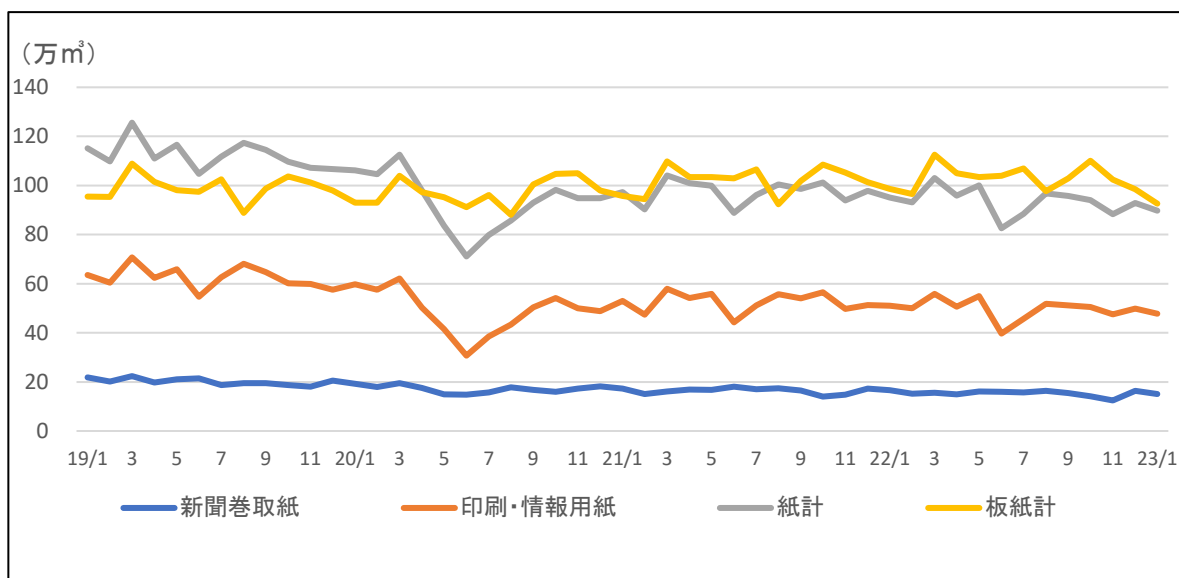
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

- 2021年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は2,185万m³。

単位：千m³

全 国 ・ 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹	スギ	広葉樹
全 国	21,847	12,861	4,661	4,325	20,088	12,917	1,759
北 海 道	3,163	1,630	652	881	2,615	63	548
青 森	971	360	397	214	924	812	47
岩 手	1,431	525	547	359	1,228	770	203
宮 城	627	218	292	117	588	538	39
秋 田	1,183	486	554	143	1,109	1,095	74
山 形	305	223	75	7	302	291	3
福 島	890	444	64	382	756	568	134
茨 城	401	320	4	77	374	254	27
栃 木	658	463	5	190	571	396	87
群 馬	252	162	31	59	240	179	12
埼 玉	67	31	x	x	43	25	24
千 葉	50	16	4	30	35	28	15
東 京	64	17	8	39	58	37	6
神 奈 川	10	8	x	x	9	6	1
新 潟	119	81	23	15	112	111	7
富 山	112	57	21	34	96	90	16
石 川	108	52	37	19	98	85	10
福 井	122	57	30	35	120	114	2
山 梨	125	27	x	x	104	27	21
長 野	460	188	207	65	453	106	7
岐 阜	385	256	80	49	381	211	4
静 岡	608	199	99	310	608	248	0
愛 知	139	96	28	15	127	76	12
三 重	277	189	81	7	276	122	1
滋 賀	72	15	14	43	57	40	15
京 都	159	51	41	67	140	98	19
大 阪	x	7	-	x	10	6	x
兵 庫	301	98	143	60	287	189	14
奈 良	125	107	x	x	125	67	0
和 歌 山	206	138	24	44	201	129	5
鳥 取	232	83	101	48	211	163	21
島 根	346	120	124	102	289	204	57
岡 山	427	348	23	56	389	100	38
広 島	347	152	81	114	267	136	80
山 口	221	123	46	52	198	135	23
徳 島	333	175	x	x	321	263	12
香 川	13	5	-	8	8	1	5
愛 媛	563	528	3	32	563	342	-
高 知	519	x	x	94	516	254	3
福 岡	402	343	7	52	395	353	7
佐 賀	130	109	1	20	119	66	11
長 崎	139	77	12	50	120	59	19
熊 本	938	752	123	63	907	686	31
大 分	1,129	892	210	27	1,116	929	13
宮 崎	2,042	1,830	164	48	2,026	1,931	16
鹿 児 島	664	417	132	115	596	514	68
沖 縄	x	x	-	x	0	-	x

資料：農林水産省「令和3年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

- 2021年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は2,666億円。

単位：1,000万円

都 道 府 県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		針葉樹	スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ		
北 海 道	3,145	2,652	42	—	1	2,573	493	—
青 森	863	811	684	0	39	52	51	—
岩 手	1,498	1,264	728	4	165	365	215	—
宮 城	534	507	465	6	21	14	25	2
秋 田	1,176	1,089	1,075	0	3	12	85	—
山 形	317	312	298	0	2	13	5	—
福 島	853	765	484	211	29	37	86	—
茨 城	547	528	283	242	2	0	19	—
栃 木	851	774	453	306	6	3	70	2
群 馬	283	271	186	51	3	29	11	—
埼 玉	67	49	24	24	0	1	17	—
千 葉	43	30	22	7	—	—	11	3
東 京	41	36	20	11	—	1	5	—
神 奈 川	13	13	6	6	—	—	1	—
新 潟	140	133	132	0	0	1	6	0
富 山	118	104	92	11	0	1	14	—
石 川	135	126	101	11	3	0	9	0
福 井	116	114	108	5	1	0	2	0
山 梨	120	99	28	17	11	34	10	—
長 野	648	623	101	107	36	376	9	—
岐 阜	593	586	284	281	2	11	7	0
静 岡	638	638	189	400	1	2	0	—
愛 知	171	163	75	74	0	11	9	—
三 重	445	443	158	282	3	—	1	—
滋 賀	57	42	27	11	0	0	14	1
京 都	162	140	90	48	0	—	17	5
大 阪	x	11	5	6	0	—	x	—
兵 庫	340	324	178	141	1	0	15	0
奈 良	201	200	77	124	—	—	0	0
和 歌 山	231	224	124	98	0	—	5	2
鳥 取	262	248	167	75	5	0	14	—
島 根	385	337	210	106	13	0	48	0
岡 山	726	698	90	603	2	—	24	3
広 島	467	423	159	251	13	0	43	—
山 口	331	312	168	142	1	1	14	5
徳 島	352	346	242	104	0	—	6	0
香 川	13	10	1	10	0	—	2	0
愛 媛	809	808	383	425	0	0	—	0
高 知	702	700	281	382	0	—	2	1
福 岡	239	234	157	75	1	—	5	0
佐 賀	237	229	113	116	0	—	8	0
長 崎	195	182	72	110	—	—	13	—
熊 本	1,684	1,657	1,107	549	0	—	20	7
大 分	1,709	1,690	1,332	358	1	—	9	4
宮 崎	3,217	3,206	2,980	224	1	—	10	—
鹿 児 島	970	902	725	172	1	—	52	15
沖 縄	x	0	—	—	—	—	x	—
合 計	26,655	25,054	14,726	6,188	367	3,537	1,483	51

資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場が直接入荷するパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

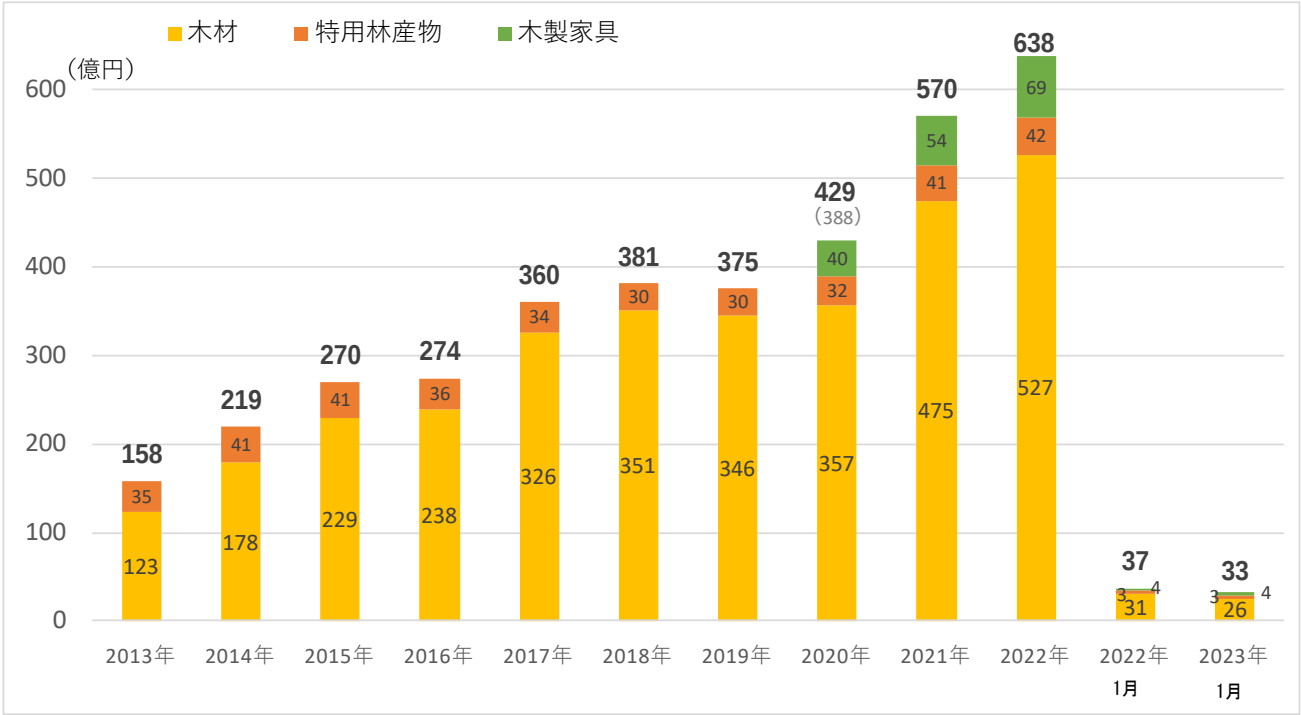
「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計調査を公表していないもの

林産物輸出入情報- 1

林産物輸出額

- 令和5年1月の林産物の輸出額は33億円（前年同月比88%）となった。
- 内訳としては木材が26億円（同83%）、特用林産物が3億円（同109%）、木製家具が4億円（同117%）となった。

○林産物輸出の推移



資料：財務省「貿易統計」
※特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。
※2020年の（388）は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。
※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

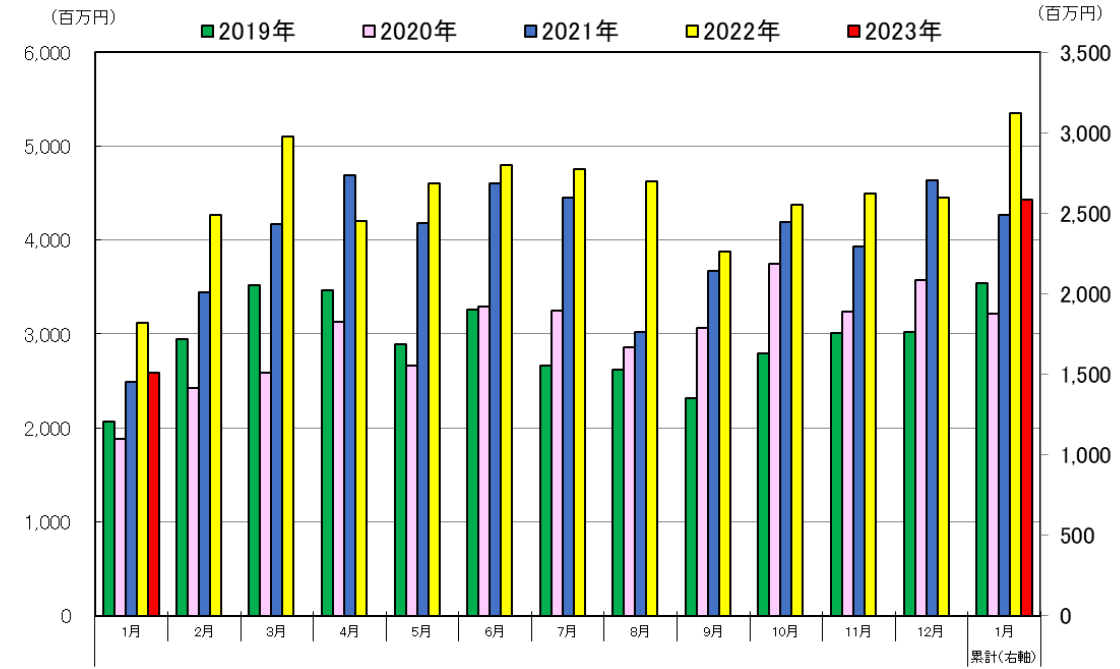
(億円)

	2022年				2023年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	37	31	3	4	33	88%	105%	26	3	4
2月	50	43	3	4						
3月	61	51	4	6						
4月	51	42	3	5						
5月	55	46	3	5						
6月	58	48	4	6						
7月	58	48	4	7						
8月	56	46	3	6						
9月	48	39	4	6						
10月	54	44	4	6						
11月	55	45	4	7						
12月	56	45	4	7						
1月累計	37	31	3	4	33	88%	105%	26	3	4

資料：財務省貿易統計

- 令和5年(2023年)1月の輸出額は25.8億円(前年同月比83%)となった。
- 全体的に輸出額が減少しているが、丸太輸出では中国・台湾の減少が大きい。特に製材輸出については、フィリピン向け輸出が大きく減少している他、韓国・米国でも輸出額が減少している。

○木材輸出額の推移（月別）



○木材輸出額の推移（主な国別・品目別）

輸出先	単月 1月					累計 1月				
	輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板
中国	978	79%	718 73%	82 104%	5 31%	978	79%	718 73%	82 104%	5 31%
韓国	229	85%	159 101%	24 61%	3 164%	229	85%	159 101%	24 67%	3 164%
台湾	136	81%	67 67%	35 87%	0 —	136	81%	67 67%	35 87%	0 —
米国	306	120%	0 —	105 69%	0 —	306	120%	0 —	105 69%	0 —
フィリピン	586	61%	0 —	37 12%	526 88%	586	61%	0 —	37 12%	526 88%
その他	350	154%	6 85%	52 181%	6 —	350	154%	6 85%	52 181%	6 —
総計	2,584	83%	949 76%	335 53%	540 88%	2,584	83%	949 76%	335 53%	540 88%

※資料：財務省貿易統計（第44類を集計）、四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



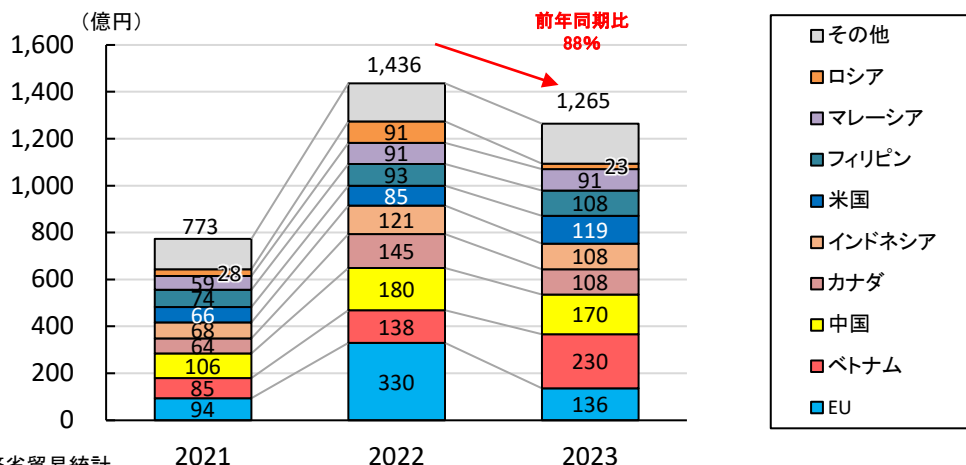
林産物輸出入情報-3 木材輸入額

- 2023年1月の木材輸入額は、前月比101%、前年同月比は88%の1,265億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、インドネシア（同9%）は、増減なしだった。また、EU（前年輸入額に占めるシェア18%）が81%と減少する一方、ベトナム（同12%）が120%、中国（同12%）が108%、カナダ（同10%）が106%、米国（同8%）が110%、フィリピン（同8%）が101%増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが41%、中国が94%、カナダが74%、インドネシアが89%と減少する一方、ベトナムが167%、米国が141%、フィリピンが116%と増加した。

（単位：億円）

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2022年 12月	2023年 1月	前月比	前年 同月比	2022年 1～1月	2023年 1～1月	前年 同期比
世界計	17,451	1,250	1,265	101%	88%	1,436	1,265	88%
E U	3,227	169	136	81%	41%	330	136	41%
（フィンランド）	1,080	64	37	59%	34%	111	37	34%
（スウェーデン）	688	37	31	83%	38%	81	31	38%
ベトナム	2,094	191	230	120%	167%	138	230	167%
中 国	2,071	156	170	108%	94%	180	170	94%
カナダ	1,756	102	108	106%	74%	145	108	74%
インドネシア	1,583	108	108	100%	89%	121	108	89%
米 国	1,451	108	119	110%	141%	85	119	141%
フィリピン	1,348	108	108	101%	116%	93	108	116%
マレーシア	1,115	86	91	105%	100%	91	91	100%
ロシア	685	20	23	116%	26%	91	23	26%
その他	2,122	201	171	85%	105%	162	171	105%
我が国の総輸入額	1,181,642	102,390	100,491	98%	118%	85,312	100,491	118%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.48%	1.22%	1.26%			1.68%	1.26%	

○2021～2023年の1月における木材輸入額



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

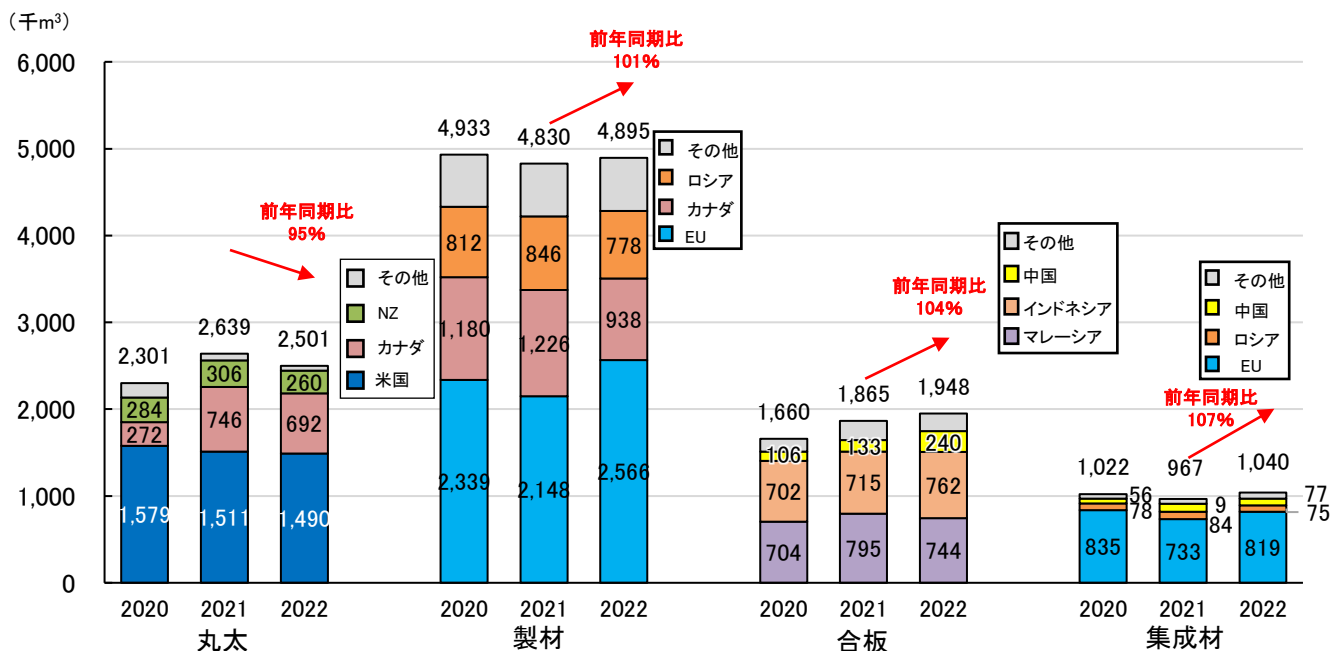
2：EUに英国は含まない。

3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

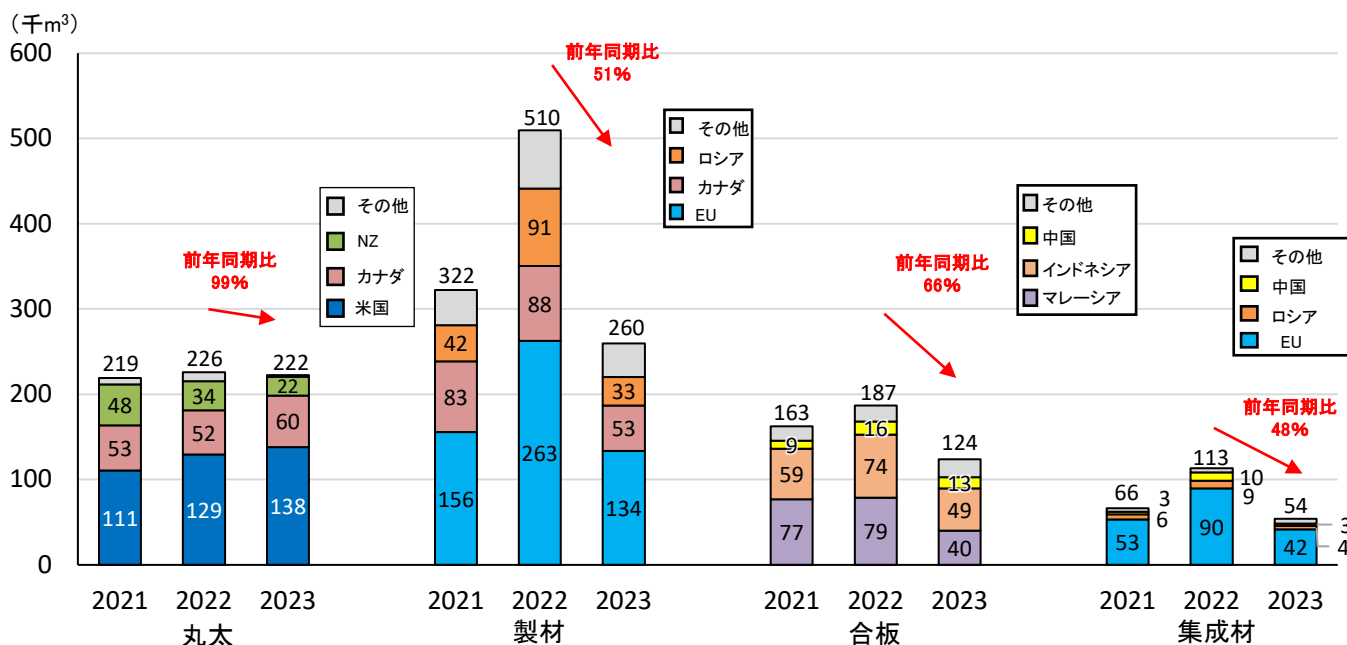
林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2022年における品目別の輸入量は、前年比で丸太が95%と減少する一方で、製材が101%、合板が104%、集成材が107%と、増加した。
- 2023年1月における品目別の輸入量は、前年同期比で丸太が99%、製材が51%、合板が66%、集成材が48%と軒並み減少した。
- なお、2021年同期比では、丸太が101%、製材が81%、合板が76%、集成材が81%となった。

○2020～2022年の品目別木材輸入量



○2021～2023年の1月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

注：2022年2月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2023年1月の丸太輸入量は、前月比113%、前年同月比99%の22万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア60%）が130%、カナダ（同28%）が103%、ニュージーランド（同10%）が109%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ニュージーランドが65%と減少する一方、米国が107%、カナダが116%と増加した。

（単位：千m³）

材種 国名	年	月別数量				累計数量		
		2022年 (1月～ 12月)	2022年 12月	2023年 1月	前月比	前年 同月比	2022年 1～1月	2023年 1～1月
合 計		[100%] 2,501	[100%] 197	[100%] 222	113%	99%	[100%] 226	[100%] 222
米 材		[87%] 2,182	[83%] 164	[89%] 198	121%	110%	[80%] 181	[89%] 198
米国		[60%] 1,490	[54%] 106	[62%] 138	130%	107%	[57%] 129	[62%] 138
カナダ		[28%] 692	[30%] 58	[27%] 60	103%	116%	[23%] 52	[27%] 60
南洋材		[1%] 29	[6%] 12	[0%] 0	1%	2%	[1%] 3	[0%] 0
インドネシア		[0%] 0	-	-	-	-	-	-
マレーシア		[1%] 22	[3%] 6	-	0%	0%	[1%] 3	-
パプアニューギニア		[0%] 7	[3%] 6	[0%] 0	1%	皆増	-	[0%] 0
ロシア材		[0%] 7	-	-	-	0%	[3%] 7	-
ニュージーランド材		[10%] 260	[10%] 20	[10%] 22	109%	65%	[15%] 34	[10%] 22
欧州材		[1%] 15	[0%] 0	[0%] 1	159%	115%	[0%] 1	[0%] 1
EU 計		[1%] 15	[0%] 0	[0%] 1	159%	115%	[0%] 1	[0%] 1
アフリカ材		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 1	1749%	皆増	-	[0%] 1
中 国		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	7%	7%	[0%] 0	[0%] 0
その他		[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	209%	67%	[0%] 0	[0%] 0

資料：財務省貿易統計
注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。
2：米材は米国、カナダより輸入された材。
3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。
4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。
5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
7：「-」は輸入実績なし等。
8：EUに英国は含まない。
9：2022年2月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2023年1月の製材輸入量は、前月比94%、前年同月比51%の26万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア52%）が93%、カナダ（同19%）が99%と減少する一方、ロシア（同16%）が114%と増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが61%、ロシアが36%、EUが51%と軒並み減少した。

（単位：千m³）

材種 国名	年 2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 12月	2023年 1月	前月比	前年 同月比	2022年 1～1月	2023年 1～1月	前年 同期比
合 計	[100%] 4,895	[100%] 277	[100%] 260	94%	51%	[100%] 510	[100%] 260	51%
米 材	[22%] 1,070	[22%] 62	[24%] 62	100%	64%	[19%] 97	[24%] 62	64%
米国	[3%] 132	[3%] 8	[3%] 9	111%	93%	[2%] 9	[3%] 9	93%
カナダ	[19%] 938	[20%] 54	[21%] 53	99%	61%	[17%] 88	[21%] 53	61%
南洋材	[1%] 63	[2%] 4	[2%] 6	130%	94%	[1%] 6	[2%] 6	94%
インドネシア	[0%] 21	[1%] 2	[1%] 2	118%	102%	[0%] 2	[1%] 2	102%
マレーシア	[1%] 40	[1%] 2	[1%] 4	143%	90%	[1%] 4	[1%] 4	90%
パプアニューギニア	[0%] 0	-	-	-	0%	[0%] 0	-	0%
ロシア材	[16%] 778	[11%] 29	[13%] 33	114%	36%	[18%] 91	[13%] 33	36%
ニュージーランド材	[1%] 47	[2%] 5	[2%] 5	110%	92%	[1%] 5	[2%] 5	92%
チリ材	[5%] 251	[10%] 27	[6%] 14	54%	42%	[7%] 35	[6%] 14	42%
欧州材	[54%] 2,619	[53%] 146	[52%] 135	93%	50%	[53%] 269	[52%] 135	50%
EU 計	[52%] 2,566	[52%] 144	[51%] 134	93%	51%	[52%] 263	[51%] 134	51%
(スウェーデン)	[17%] 847	[18%] 49	[19%] 49	100%	50%	[19%] 97	[19%] 49	50%
(フィンランド)	[17%] 842	[20%] 56	[14%] 36	66%	43%	[17%] 85	[14%] 36	43%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	138%	36%	[0%] 0	[0%] 0	36%
中 国	[1%] 57	[1%] 3	[1%] 3	85%	49%	[1%] 6	[1%] 3	49%
その他	[0%] 8	[0%] 1	[0%] 1	166%	92%	[0%] 1	[0%] 1	92%

資料：財務省貿易統計
注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。
2：米材は米国、カナダより輸入された材。
3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。
4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。
5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
7：「-」は輸入実績なし等。
8：EUに英国は含まない。
9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2023年1月の合板輸入量は、前月比93%、前年同月比66%の12万㎡となった。
- 国別に、前月比で見ると、マレーシア（前年輸入量に占めるシェア38%）が82%と減少する一方、インドネシア（同39%）が105%と増加した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが51%、インドネシアが67%と減少した。

(単位:千㎡)

国名	年	月別数量					累計数量				
		2022年 (1月～ 12月)	2022年 12月	2023年 1月	前年		2022年 1～1月	2023年 1～1月	前年 同期比		
					前月比	同月比					
総輸入量		[100%] 1,948	[100%] 133	[100%] 124			93%	66%	[100%] 187	[100%] 124	66%
	マレーシア	[38%] 744	[37%] 49	[33%] 40			82%	51%	[42%] 79	[33%] 40	51%
	インドネシア	[39%] 762	[35%] 47	[40%] 49			105%	67%	[40%] 74	[40%] 49	67%
	ベトナム	[10%] 186	[16%] 22	[16%] 19			90%	116%	[9%] 17	[16%] 19	116%
	中 国	[12%] 240	[10%] 14	[11%] 13			98%	85%	[8%] 16	[11%] 13	85%
	EU	[0%] 6	[0%] 0	[1%] 1			223%	126%	[0%] 1	[1%] 1	126%
	その他	[1%] 10	[1%] 1	[1%] 1			82%	69%	[1%] 1	[1%] 1	69%

資料：財務省貿易統計
注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
4：EUに英国は含まない。

- 2023年1月の木材チップ輸入量は、前月比94%、前年同月比95%の94万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、オーストラリア（前年輸入量に占めるシェア17%）が76%、チリ（同8%）が71%と減少する一方で、ベトナム（同38%）が127%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが98%、オーストラリアが64%、チリが49%と軒並み減少した。

(単位:千トン)

国名	年	月別数量					累計数量			
		2022年 (1月～ 12月)	2022年 12月	2023年 1月	前年		2022年 1～1月	2023年 1～1月	前年 同期比	
					前月比	同月比				
総輸入量		[100%] 11,312	[100%] 995	[100%] 935				[100%] 982	[100%] 935	95%
ベトナム		[38%] 4,300	[31%] 310	[42%] 393		127%	98%	[41%] 402	[42%] 393	98%
オーストラリア		[17%] 1,943	[17%] 171	[14%] 130		76%	64%	[21%] 202	[14%] 130	64%
チリ		[8%] 868	[8%] 82	[6%] 58		71%	49%	[12%] 118	[6%] 58	49%
南アフリカ共和国		[10%] 1,099	[6%] 64	[10%] 94		146%	153%	[6%] 61	[10%] 94	153%
米国		[8%] 960	[12%] 124	[4%] 42		33%	66%	[6%] 63	[4%] 42	66%
その他		[19%] 2,142	[24%] 244	[23%] 219		90%	161%	[14%] 136	[23%] 219	161%

資料：財務省貿易統計
注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2023年1月の集成材輸入量は、前月比94%、前年同月比48%の5.4万m³となった。構造用集成材に限ると、前月比88%、前年同月比43%の4.4万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア79%）が87%と減少する一方、中国（同7%）が128%、ロシア（同7%）が125%と増加した。EUの国別内訳では、フィンランド（同38%）が70%、オーストリア（同12%）が92%と減少する一方、ルーマニア（同15%）が161%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが46%、中国が30%、ロシアが45%と軒並み減少した。

（単位：千m³）

年 国名	2022年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 12月	2023年 1月	前月比	前年 同月比	2022年 1～1月	2023年 1～1月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,040	[100%] 57	[100%] 54	94%	48%	[100%] 113	[100%] 54	48%
うち 構造用集成材	[100%] 906	[100%] 49	[100%] 44	88%	43%	[100%] 101	[100%] 44	43%
EU	[79%] 819	[84%] 48	[77%] 42	87%	46%	[79%] 90	[77%] 42	46%
うち 構造用集成材	[88%] 797	[94%] 46	[89%] 39	84%	45%	[86%] 87	[89%] 39	45%
フィンランド	[38%] 390	[51%] 29	[38%] 20	70%	50%	[36%] 41	[38%] 20	50%
うち 構造用集成材	[43%] 385	[57%] 28	[44%] 19	69%	48%	[40%] 40	[44%] 19	48%
ルーマニア	[15%] 156	[6%] 3	[10%] 5	161%	32%	[14%] 16	[10%] 5	32%
うち 構造用集成材	[16%] 148	[6%] 3	[12%] 5	157%	34%	[15%] 15	[12%] 5	34%
オーストリア	[12%] 125	[12%] 7	[12%] 6	92%	45%	[12%] 14	[12%] 6	45%
うち 構造用集成材	[13%] 116	[13%] 6	[11%] 5	77%	36%	[13%] 13	[11%] 5	36%
中国	[7%] 77	[4%] 2	[5%] 3	128%	30%	[9%] 10	[5%] 3	30%
うち 構造用集成材	[5%] 45	[1%] 1	[3%] 1	204%	19%	[6%] 6	[3%] 1	19%
ロシア	[7%] 75	[6%] 3	[8%] 4	125%	45%	[8%] 9	[8%] 4	45%
うち 構造用集成材	[7%] 64	[5%] 3	[8%] 4	140%	46%	[8%] 8	[8%] 4	46%
その他	[7%] 68	[6%] 4	[10%] 5	146%	113%	[4%] 5	[10%] 5	113%
うち 構造用集成材	[0%] 0	-	-	-	0%	[0%] 0	-	0%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4

木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2023年1月の木質ペレット輸入量は、前月比138%、前年同月比142%の46万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア54%）が138%、カナダ（同31%）が139%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが158%、カナダが107%と増加した。

（単位：千トン）

年 国名		2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量			
			2022年 12月	2023年 1月	前月比	前年 同月比	2022年 1～1月	2023年 1～1月	前年 同期比	
総輸入量 ベトナム カナダ マレーシア その他		[100%] 4,408	[100%] 330	[100%] 456			[100%] 321	[100%] 456		
		[54%] 2,395	[64%] 212	[64%] 293			[58%] 185	[64%] 293		
		[31%] 1,359	[27%] 90	[28%] 125			[37%] 118	[28%] 125		
		[3%] 137	[8%] 27	[8%] 36			[3%] 10	[8%] 36		
		[12%] 517	[0%] 1	[0%] 1			[2%] 8	[0%] 1		

資料：財務省貿易統計
注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年1月のLVL輸入量は、前月比97%、前年同月比96%の5.0万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入量に占めるシェア75%）が95%と減少する一方、ベトナム（同20%）が102%と増加した。前年同月比で見ると、中国が84%と減少する一方、ベトナムが157%と増加した。

（単位：千m³）

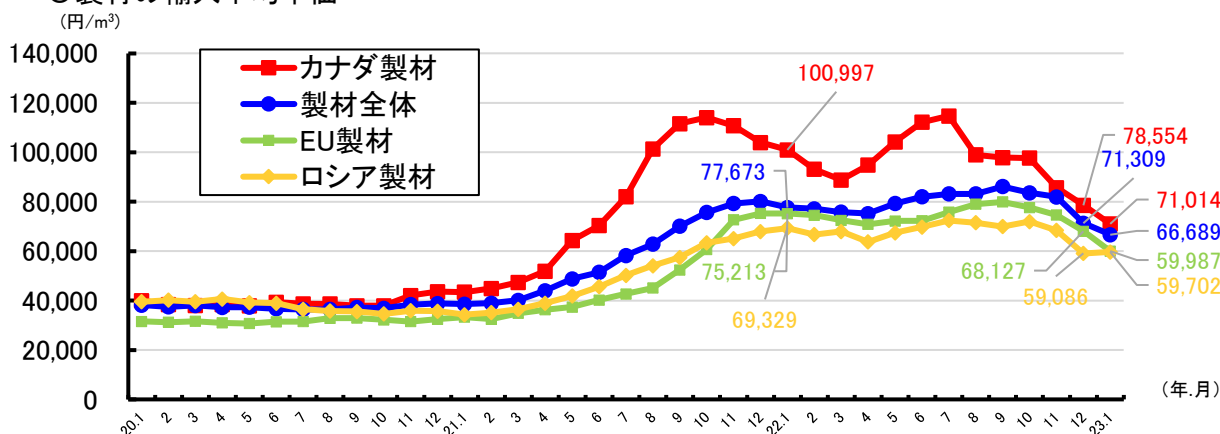
年 国名		2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2022年 12月	2023年 1月	前月比	前年 同月比	2022年 1～1月	2023年 1～1月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 527	[100%] 52	[100%] 50			[100%] 53	[100%] 50	
中 国		[75%] 397	[75%] 39	[73%] 37			[83%] 44	[73%] 37	
ベトナム		[20%] 107	[21%] 11	[23%] 11			[14%] 7	[23%] 11	
インドネシア		[4%] 19	[3%] 1	[3%] 2			[2%] 1	[3%] 2	
その他		[1%] 4	[1%] 0	[1%] 0			[1%] 1	[1%] 0	

資料：財務省貿易統計
注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。
2：LVLは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。
3：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
4：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

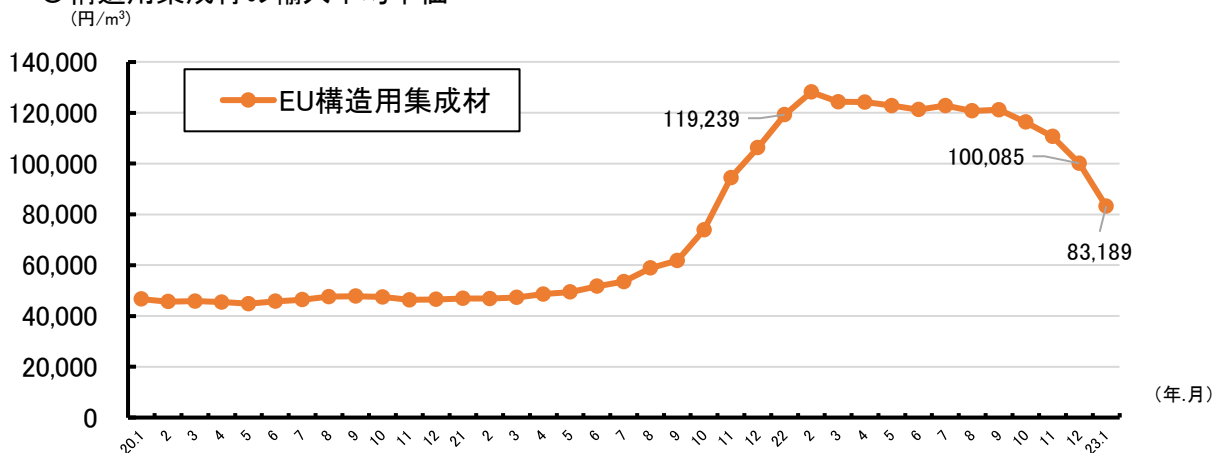
林産物輸出入情報- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 2023年1月の製材輸入平均単価（総輸入額/総輸入量）は、前月比94%の66,689円/㎥（前年同月比86%）。うち、カナダの製材は前月比90%の71,014円/㎥（同70%）、EUの製材は前月比88%の59,987円/㎥（同80%）、ロシアの製材は前月比101%の59,702円/㎥（同86%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比83%の83,189円/㎥（前年同期比70%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比94%の93,720円/㎥（前年同期比113%）。

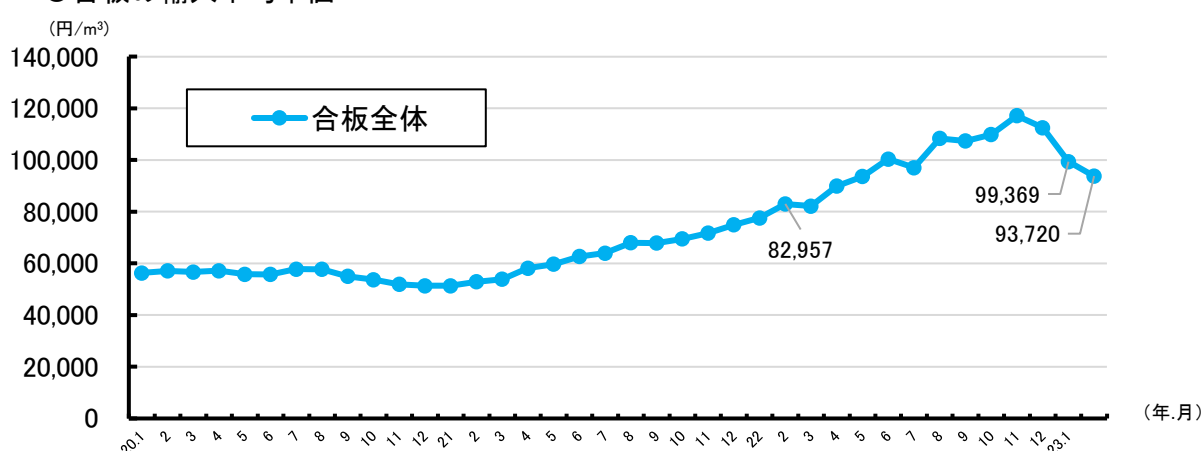
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報- 1

特用林産物の国内生産量

- 2021年の食用きのこ類の生産量は46万2,021t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は1万9,917t（対前年比75.3%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,806t（対前年比91.2%）となった。

○きのこ類

単位:t

品目 年次		きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39

注:まつたけの1972年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位:t

品目 年次		その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886

注:くりの2010年～2020年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

品目 年次		非 食 用													
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭
		kg	t	千束	m	t	t	t	t	層積m	t	kl	千本、t	千本、t	t
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160
2012	24	1,438	18	1,193	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054
2021	3	2,036	22	916	187	11,806	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972

- 注:1 木炭、薪の昭和47年までに生産量は『農林省統計表』による。
2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。
3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業界調べによる
4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本から t に変更した。

資料：特用林産基礎資料（第一報）

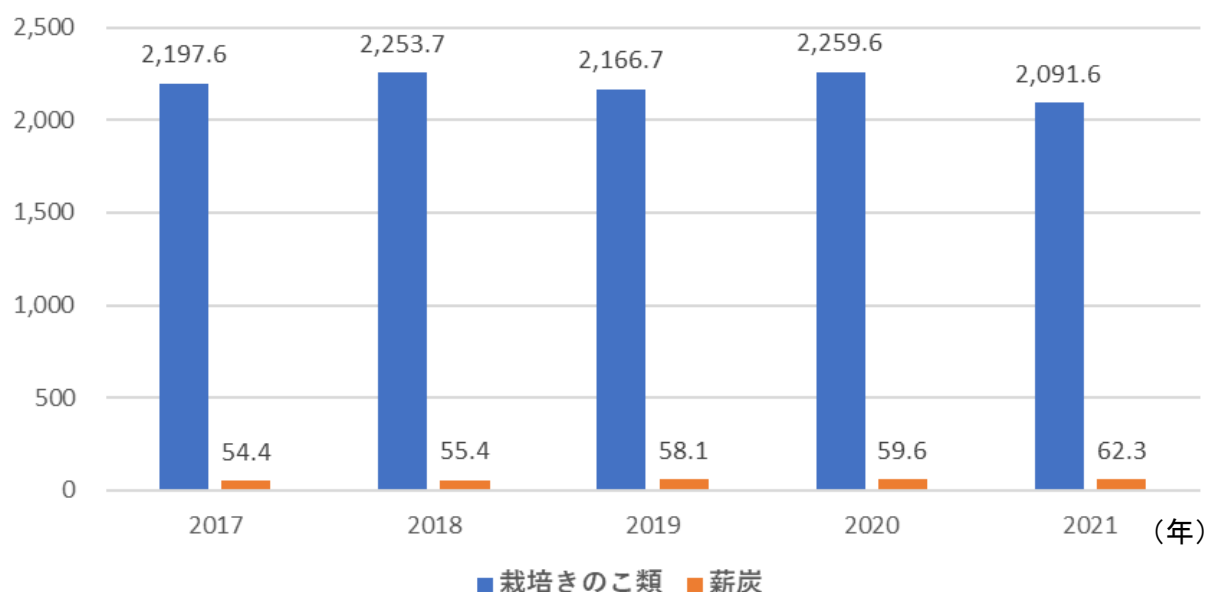
特用林産情報- 2 特用林産物の産出額

- ・2021年のきのこ類の林業産出額は、2,091.6億円（対前年比92.6%）となった。
- ・薪炭の林業産出額は、62.3億円（対前年比104.5%）となった。

（億円）

	2017	2018	2019	2020	2021
栽培きのこ類	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6	2,091.6
薪炭	54.4	55.4	58.1	59.6	62.3

（億円）



資料：農林水産省「令和3年林業産出額」（2023年3月10日 修正公表）

- ・2023年1月の乾しいたけの輸出量は6トン、輸入量は431トン。
- ・2023年1月の木炭の輸出量は3トン、輸入量は4,394トン。

品目	単位	2019		2020		2021		2022		2023 1月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	33	4,869	33	4,354	41	4,575	36	4,596	6	431
生しいたけ	トン	---	1,835	---	1,785	---	1,988	14	2,262	1	163
なめこ	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
えのきたけ	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
ひらたけ	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
ぶなしめじ	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
まいたけ	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
エリンギ	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
きくらげ類	トン	89	25,320	14	23,190	66	22,060	76	24,882	-	2,135
まつたけ	トン	---	849	---	629	---	524	---	408	---	-
くり	トン	---	9,019	---	7,371	---	8,401	---	8,481	---	285
くるみ	トン	---	52,236	---	56,478	---	67,581	---	53,991	---	3,753
たけのこ	トン	---	157,296	---	142,544	---	149,778	---	153,619	---	13,578
ねまがりたけ	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
わさび	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
おうれん	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
きはだ皮	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
木ろう	トン	7	10	4	9	5	11	5	10	0	5
生うるし	kg	---	36,254	---	30,165	---	21,910	---	---	---	5,600
つばき油	kl	---	180	---	220	---	224	---	---	---	1,038
竹皮	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
竹材	千束	0	215	0	194	0	191	18	159	-	18
桐材	m ³	---	10,099	---	9,726	---	9,871	---	9,813	---	689
木炭	トン	460	143,953	439	79,739	270	84,224	205	80,042	3	4,394
竹炭	トン	---	9,414	12	7,605	2	6,790	6	9,666	-	1,126
木酢液	kl	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
竹酢液	kl	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
薪	層積m ³	788	1,830	468	2,326	490	7,099	558	9,048	-	685
オガライト	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
オガ炭	トン	---	54,183	---	44,499	---	37,584	---	---	---	3,457
煉炭	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
豆炭	トン	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

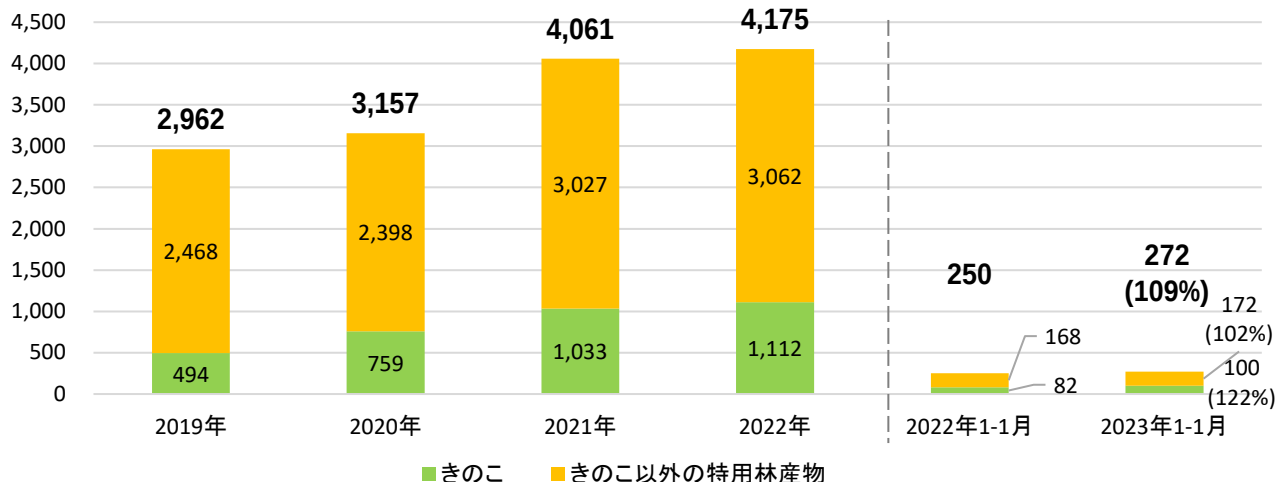
資料：財務省貿易統計

注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

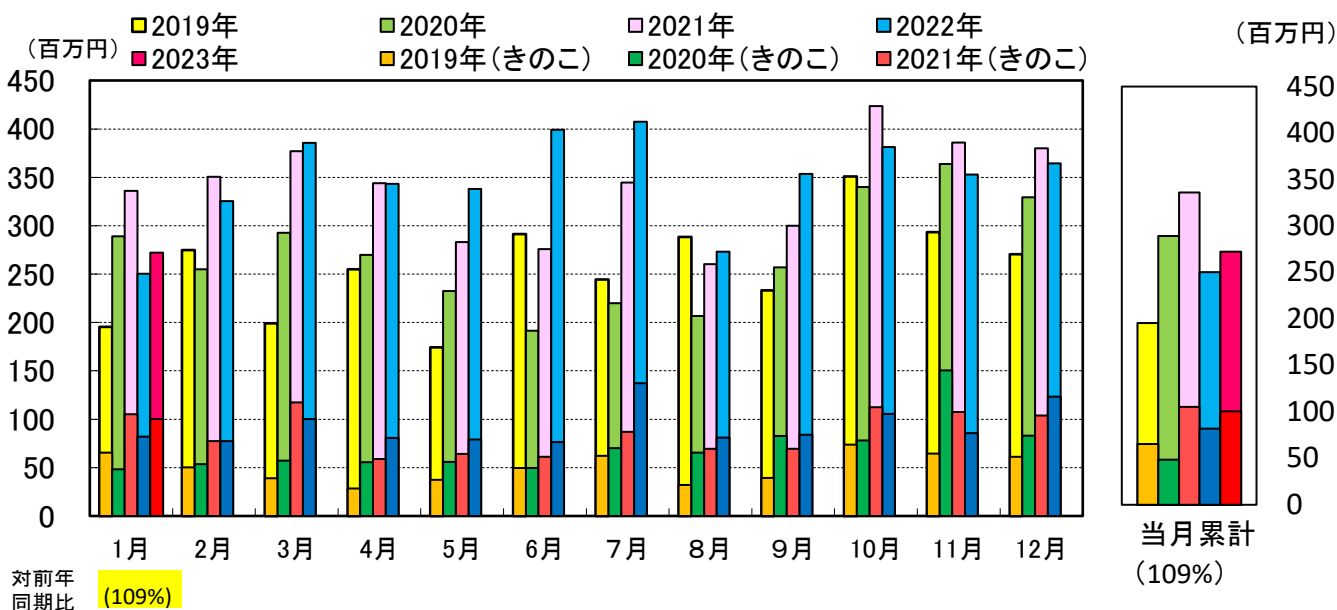
- 2023年1月の特用林産物輸出額は272百万円（前年同期比109%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は、100百万円（対前年同期比122%）、きのこ以外は、172百万円（対前年同期比102%）となった。きのこ以外の特用林産物は241百万円（対前年同月比87%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）

（百万円）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

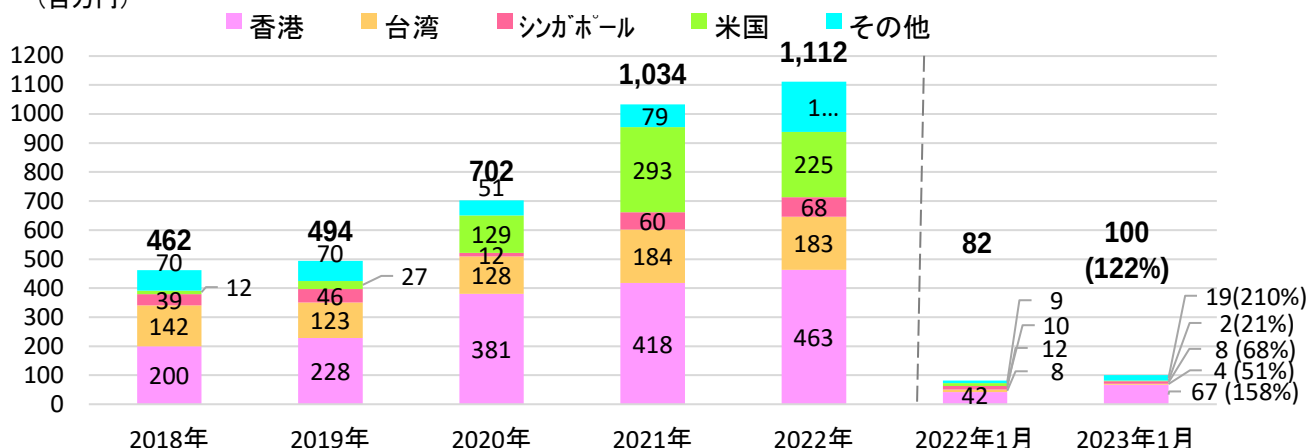
※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 2023年1月のきのこの輸出額は100百万円で、対前年同期比122%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比158%、台湾が51%、シンガポールが68%、米国が21%となっている。
- 2023年1月の輸出量は120トンで、対前年同期比105%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比114%、台湾が47%、シンガポールが64%、米国が13%となっている。

〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）

（百万円）



資料：財務省貿易統計

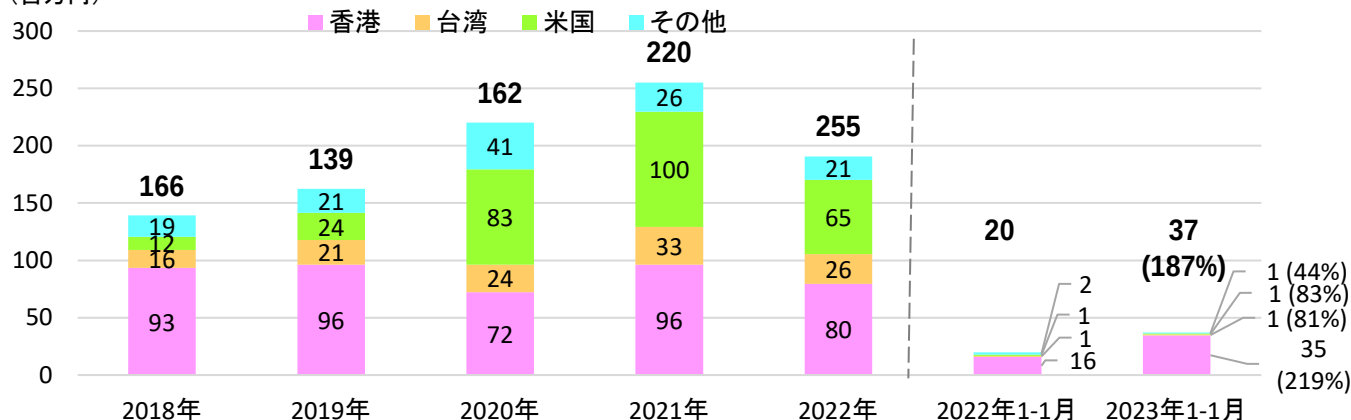
※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2023年1月の乾しいたけの輸出額は37百万円で、対前年同期比187%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年比219%、台湾は81%、米国は83%となっている。
- 2023年1月の輸出量は6トンで、対前年同期比184%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比215%、台湾が80%、米国が134%となっている。

〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）

（百万円）



資料：財務省貿易統計

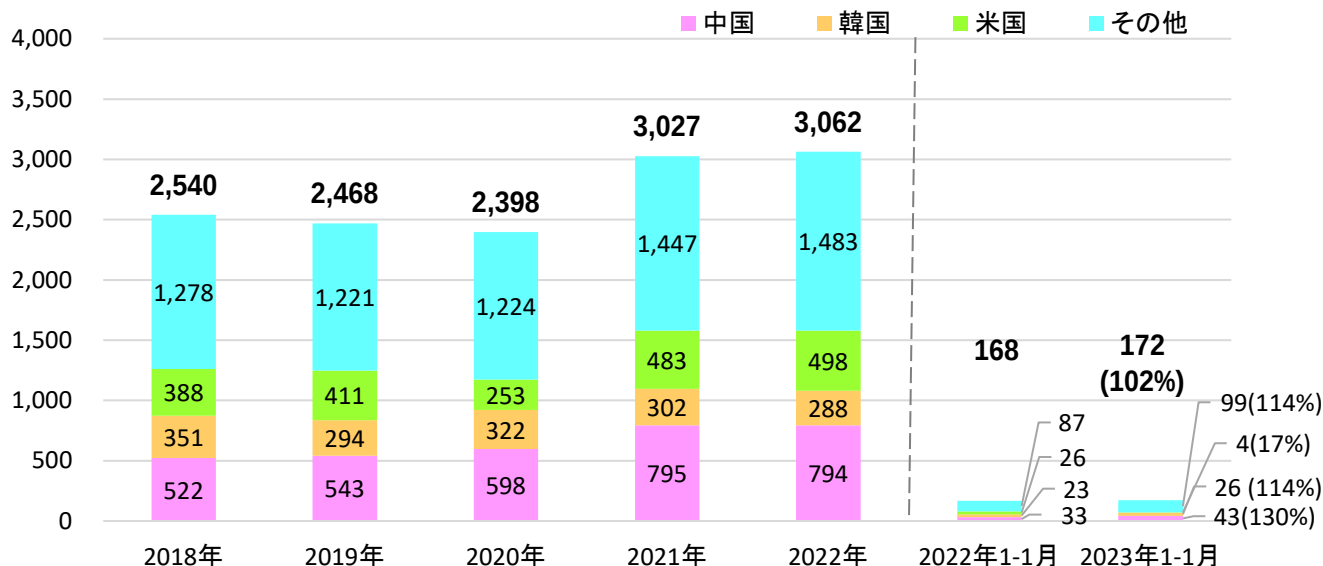
※()は対前年同期比

特用林産情報- 4 特用林産物の輸出額③

- 2023年1月のきのこ以外の特用林産物の輸出額は172百万円で、対前年同期比102%となっている。国別には、中国が対前年同期比130%、韓国が114%、米国が17%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比99%、植物性ろうが121%、テルペン油が56%となっている。
- 2023年1月の輸出量は135トンで、対前年同期比86%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比130%、韓国が49%、米国が28%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）

（百万円）



資料：財務省貿易統計

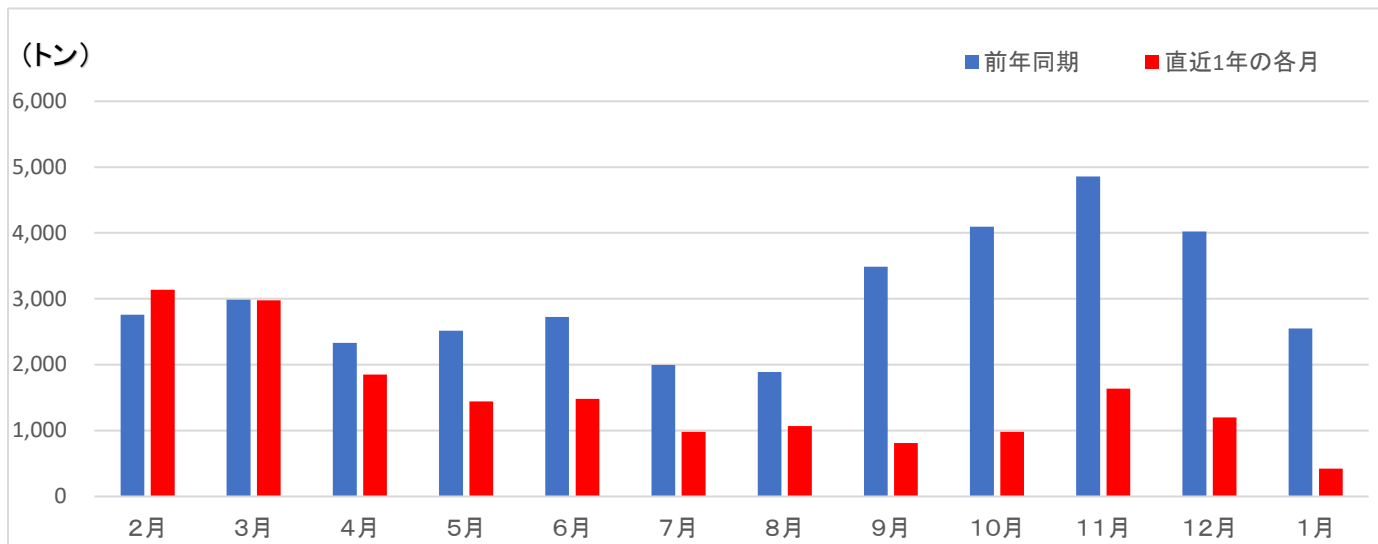
※()は対前年同期比

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあるが、2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 月別の輸入量について前年と比較すると、4月以降の輸入量に減少が見られ、直近の1月には、前年の2,548トンから420トン（対前年同期比16.5%）へと大幅に減少。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
前年同期	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022	2,548
直近1年の各月	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199	420



資料：財務省貿易統計

- ・2023年2月のきのこの卸売数量は、6,718トン(対前年同月比89.7%)となった。
- ・2023年2月のきのこの卸売総額は3,526百万円(対前年同月比101.3%)となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2020年	2021年	2022年	2022年 2月	2022 9月	2022 10月	2022 11月	2022 12月	2023 1月	2023 2月
生しいたけ	48,466	47,744	47,222	1,524	1,315	1,669	1,766	2,067	1,541	1,398
なめこ	16,889	16,285	16,865	483	497	522	484	521	468	455
えのきだけ	98,312	99,571	99,656	3,427	3,233	3,956	3,762	4,435	3,374	2,929
しめじ	62,573	62,049	62,459	2,053	2,295	2,505	2,188	2,431	2,030	1,936
合計	226,240	225,649	226,202	7,487	7,340	8,652	8,200	9,454	7,413	6,718

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2020年	2021年	2022年	2022年 2月	2022 9月	2022 10月	2022 11月	2022 12月	2023 1月	2023 2月
生しいたけ	43,781	41,270	41,300	1,456	1,260	1,717	1,748	2,402	1,766	1,461
なめこ	7,431	7,032	7,321	224	229	258	243	241	223	164
えのきだけ	26,245	23,267	23,288	918	742	1,039	1,125	1,480	1,247	995
しめじ	28,688	25,099	25,300	882	808	1,108	1,075	1,126	969	906
合計	106,144	96,668	97,209	3,480	3,040	4,121	4,190	5,249	4,204	3,526

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2020年	2021年	2022年	2022年 2月	2022 9月	2022 10月	2022 11月	2022 12月	2023 1月	2023 2月
生しいたけ	903	864	875	955	1,029	990	1,162	1,162	1,146	1,045
なめこ	440	432	434	463	493	502	463	463	476	360
えのきだけ	267	234	234	268	263	299	334	334	370	340
しめじ	458	404	405	430	442	491	463	463	477	468

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

セミナー・イベント情報

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報ををご紹介します。

■ 3月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
内外装木質化等の効果実証事業成果報告会	3月20日（月）	木材会館 7F ホール （オンライン併用）	オフィスや店舗などの施設の内装で木材を用いたときにどのような効果があるのか実証を行い、効果をデータ化することで見える化し、新たなニーズにつなげていく取組に関する成果報告会が開催されます。 主催：（公財）日本住宅・木材技術センター 共催：木構造振興（株） 事前申込：要 参加費：無料 詳細： https://www.koushuukai.com/howtec/230320/
林野庁×日比谷カレッジ これからの森林。 可能性は、無限大。 ～国民参加の森林づくり、建築物の木造化、森林と健康～	3月24日（金）	日比谷図書文化館 地下1階 コンベンションホール （大ホール）	森林や木材利用がもたらす効果について、森の楽しみ方や科学的知見も交えて解説する講座を開催します。 主催：千代田区立日比谷図書文化館 事前申込：要 参加費：1,000円 詳細： https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/infoevents/hibiyacollege/
第21回聞き書き 甲子園フォーラム	3月26日（日）	東京大学内 弥生講堂一条ホール （オンライン併用・Zoom）	農林水産大臣賞等を受賞した「聞き書き」作品を紹介し、高校生と名人が対談を行います。 主催：聞き書き甲子園実行委員会 事前申込：要 （一般参加者はオンライン視聴のみの参加） 詳細： https://kikigaki21forum.peatix.com
～美しい地球は、私達の心のハーモニーから～ 雨谷麻世 環境チャリティコンサート vol. 83～87	4月20日（木） 7月26日（水） 9月15日（金） 10月3日（火） 12月20日（水）	王子ホール、 戸塚区民文化センター さくらプラザ、 ほか	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：（特非）太陽の会 （公社）国土緑化推進機構 チケット取扱い：e+（イープラス） http://eplus.jp 詳細： https://mayocrystalvoice.com/category/concert_news/
理想のすまいと建築フェア	6月8日（木） ～9日（金）	インテックス 大阪	建築材料及び住宅設備に関する機器・技術を総合的に展示し、広く住宅・非住宅関連の最新情報を提供します。 主催：（一社）日本建築材料協会 日本経済新聞社、テレビ大阪 事前申込：要 入場料：無料 詳細： http://ken-ten.jp/

ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ（※）」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD  CHANGE

WOOD CHANGE

【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンシ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問合せ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL：03-6744-2298)



林業信用保証のご案内

公的機関が林業・木材産業に必要な資金の保証を行います

■一般資金への保証

林業・木材産業に必要な運転資金及び設備資金を幅広く対象にする保証です。
(原則80%保証。一被保証者当たりの保証限度額は財務状況に応じて6億円以下です。)

■林業・木材産業災害復旧対策保証

林野庁長官が指定した災害（新型コロナウイルス感染症、原油価格・物価高騰等による影響を含む。）による影響を受けた方の復旧、資金繰り安定化のための資金に対する保証です。
(最大5年間保証料免除。罹災証明書等をご準備いただくことが必要です。)

■制度資金への保証

林業・木材産業の経営改善のための新たな計画や事業を合理化する計画を作成して、都道府県知事の認定を受けた方が、計画に従って事業を行うための資金に対する保証です。
林業・木材産業改善資金、木材産業等高度化推進資金の保証も行っています。
(都道府県による貸付限度額の定めがあります。)

●林業・木材産業改善資金

林業・木材産業の経営の改善を目的として、新たな取組を行うために必要な設備資金を無利子で融資する制度です。

●木材産業等高度化推進資金

木材の生産及び流通を円滑にすることや効率的・安定的な林業経営を図るために必要な運転資金を低利で融資する制度です。

※保証のご利用には審査があります。審査の結果、ご希望に添えない場合があります。

【相談窓口】

独立行政法人農林漁業信用基金

電話：03-3434-7825（林業業務推進課：都道府県又は一般の方）

03-3434-7826、7827（業務課：融資機関の方）

制度の概要、活用事例などはこちら

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>

お気軽にご相談ください。

